

令和5年度（2023年度）

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
1	経 緯	1
2	目 的	1
3	点検・評価の対象及び方法等	1
4	学識経験者による知見の活用	2
5	浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要	3
6	点検・評価シートの作成	4
7	事務局、教育機関の機構	5
II	教育委員会の活動状況	6
1	教育委員会議の開催状況	6
2	名簿	6
3	令和5年度教育委員会議の開催状況	6
4	教育委員会の学校訪問	9
5	教育委員会議以外の活動状況	9
III	点検・評価の結果	12
	基本方針1「幼児教育・学校教育の充実」	12
	基本事業【確かな学力向上の推進】	12
	・確かな学力向上の推進	12
	・特別支援教育の充実	13
	・社会に開かれた学校づくり	14
	・教育の充実のための学校組織体制	15
	・個に対応した家庭支援・援助	16
	基本事業【心の教育の推進】	17
	・心の教育の推進	17
	・人権教育の推進	19
	基本事業【体育・健康教育の充実】	20
	・体育・健康教育の充実	20
	基本事業【デジタル社会に対応した教育の充実】	22
	・GIGAスクール構想の推進	22
	基本事業【学校施設の整備・充実】	24
	・学習環境の整備・充実	24
	基本方針2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」	26
	基本事業【生涯学習の充実】	26
	・人材育成活動の推進	26
	・生涯学習活動の推進	26
	・公民館活動の推進	27
	・図書館活動の推進	27

・広報・啓発活動	28
・家庭教育の推進	28
・学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	28
・子ども読書活動の推進	29
基本事業【青少年健全育成団体の活動支援】	30
・青少年健全育成の推進	30
基本事業【社会教育施設の整備・充実】	31
・社会教育施設の整備・充実	31
・岡山天文博物館の円滑な運営・管理	31
基本方針3「スポーツ活動の振興」	34
基本事業【スポーツ推進計画の推進】	34
・スポーツ推進計画の推進	34
基本事業【各種スポーツ団体の育成・支援】	35
・各種スポーツ団体の育成・支援	35
基本事業【スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実】	36
・スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	36
基本事業【コロナ禍により変化した社会における運動機会の確保】	37
・コロナ禍により変化した社会における運動機会の確保	37
基本方針4「歴史文化の保全活用と芸術文化の振興」	39
基本事業【歴史・文化的資源の保全・活用】	39
・文化財の保護・保存・公開・普及活動	39
基本事業【芸術文化活動の振興】	42
・芸術文化活動の普及と振興	42
基本事業【文化施設の整備・充実】	43
・かもがた町家公園の円滑な管理・運営	43
・阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	44
基本方針5「グローバルな感性を育む国際交流の促進」	46
基本事業【国際交流の推進】	46
・姉妹都市（豪州・ティーツーガリー市）、友好提携都市（中国・高安市）との交流	46
・交流を通しての国際理解	46
基本事業【国際的に活躍できる青少年の育成】	47
・コミュニケーション能力の向上	47
基本事業【国際理解教育の推進】	48
・ALTを活かした英語活動の充実	48
基本方針6「だれもが活躍できる社会の実現」	50
基本事業【人権啓発、人権教育の推進】	50
・人権教育の推進	50
・人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	50

基本方針7「安心して産み育てることができる子育て支援の充実」	5 2
基本事業【 出産・育児・保育サポートの充実 】	5 2
・子育て環境の整備・充実	5 2
基本事業【 放課後児童健全育成事業の充実 】	5 5
・放課後児童クラブの充実	5 5
基本事業【 遊び・交流の場の整備・充実 】	5 7
・遊び・交流の場の整備・充実	5 7
IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和5年度事業分）	5 9

資料

【資料1】令和5年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）	6 4
【資料2】令和5年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校 及び教職員の研修一覧	6 5
【資料3】令和5年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧	6 7
【資料4】令和5年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績	6 8

I 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

(2) 方法

令和5年度における各事業の達成状況を把握し、その取組状況について点検・評価を実施します。

(3) 報告

- ・時 期 浅口市議会令和6年9月定例会
- ・報告の場 総務文教常任委員会

(4) 公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第26条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

◇ 浅口市教育委員会評価委員（令和6年度）

番号	氏名	所属	備考
1	浦上 博文	岡山短期大学幼児教育学科特別専任教授	
2	大島 敬子	浅口市幼稚園等新規採用教員研修研修指導員	
3	赤澤 佳子	元小学校校長	

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

評価項目	評価内容
ア 教育委員会の会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会の開催回数 ・教育委員会臨時会の開催回数
イ 教育委員の研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の参加状況

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

評価項目	評価内容
ア 教育行政の運営に関する基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の策定
イ 規則等の改廃	<ul style="list-style-type: none"> ・規則等の制定・改正等
ウ 議会の議決を経るべき議案	<ul style="list-style-type: none"> ・条例、予算等の議案
エ 教育関係予算	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政に関する当初及び補正予算
オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・設置又は廃止の状況
カ 職員の任免に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動等の状況
キ 教科用図書の採択の決定に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択状況
ク その他	

6 点検・評価シートを作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について点検・評価します。

(2) 事業概要

点検・評価項目の基本事業について、その概要を記載します。

(3) 取組状況

点検・評価項目の基本事業について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(4) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(5) 自己評価

基本事業に対する達成度や効果等について、評価を記載します。

(6) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(7) 評価指標

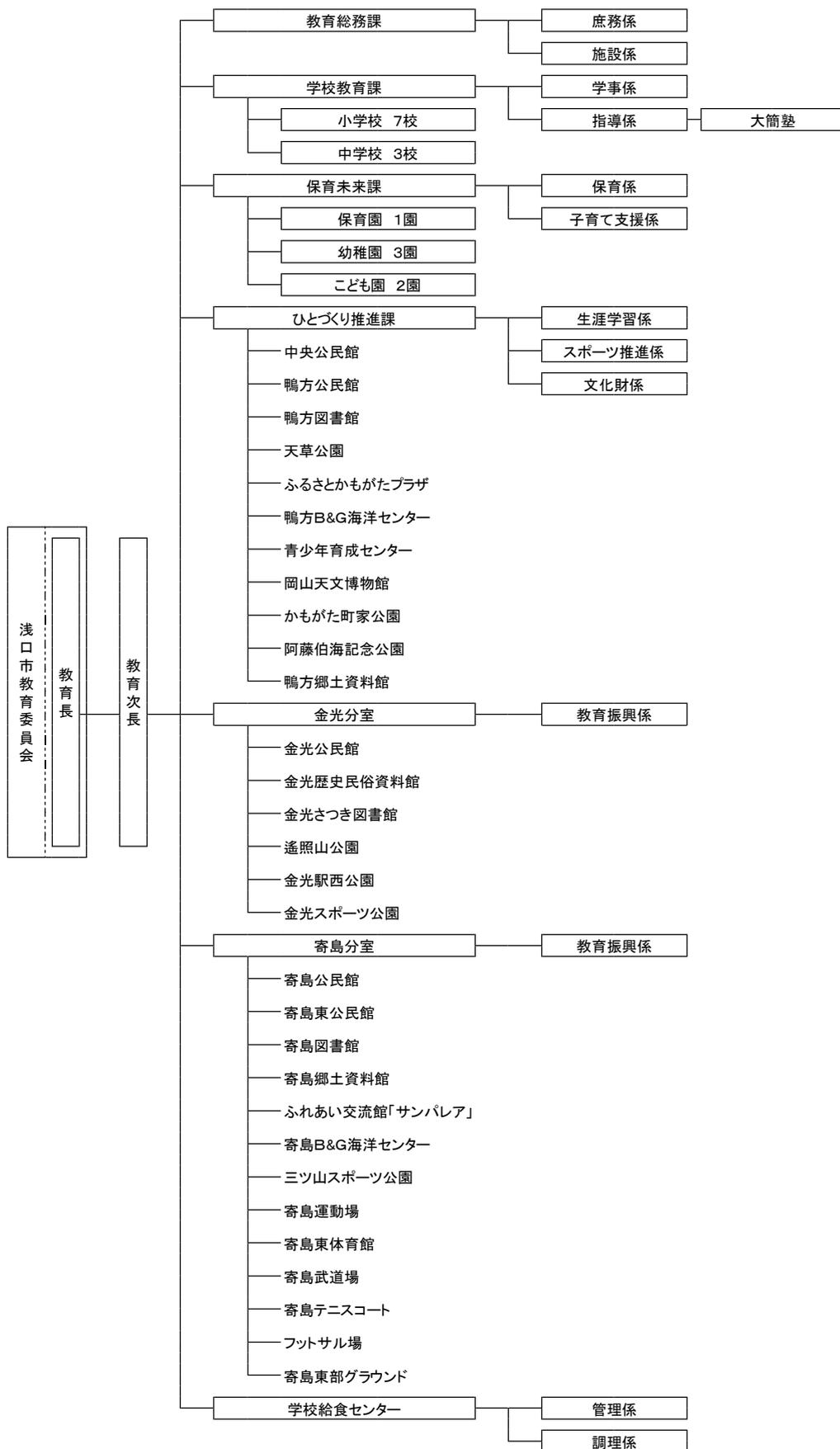
A：十分達成された。 (目標達成率 90～100%)

B：概ね達成された。 (目標達成率 80～89%)

C：やや達成できなかった。 (目標達成率 70～79%)

D：達成できなかった。 (目標達成率 ～69%)

7 事務局、教育機関の機構（令和5年4月1日現在）



II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、教育長及び4名の教育委員が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 名簿（令和5年5月12日現在）

職名	氏名	就任年月日	任期満了年月日
教育長	中野 留美	令和4年5月12日	令和7年5月11日
委員 (教育長職務代理者)	高戸 崇	令和4年5月12日	令和8年5月11日
委員	藤澤 弘幸	令和5年5月12日	令和9年5月11日
委員	佐藤 賢次	令和3年5月12日	令和7年5月11日
委員	吉田 英子	令和2年5月12日	令和6年5月11日

3 令和5年度教育委員会議の開催状況

	期日	場所	附議案件等
4月定例会	4月18日	中央公民館	
5月定例会	5月12日	中央公民館	・教育委員会教育長職務代理者の指名について
6月定例会	6月19日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市寄島地区義務教育学校開設準備委員会設置要綱の制定について ・浅口市認可外保育施設等利用料補助金交付要綱の制定について ・浅口市公民館条例施行規則等の一部を改正する規則について ・浅口市立小・中学校児童生徒用モバイルルータ等貸出事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市私立認可保育所等運営費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市保育士等雇用促進事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について

			<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市特定教育・保育施設等の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
7月定例会	7月18日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・小学校教科用図書採択について ・浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について
8月定例会	8月9日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・令和6年度使用特別支援学級教科用図書の採択について ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
9月臨時会	9月11日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・寄島地区義務教育学校の校名について
9月定例会	9月15日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・寄島地区義務教育学校の校名について（継続審議） ・準要保護の認定について ・浅口市保育士等就職支援補助金交付要綱の制定について ・浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について ・浅口市保育所等整備事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市特定教育・保育施設等の実費徴収に係る補足給付事業実施要綱の一部を改正する告示について
10月定例会	10月24日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・寄島地区義務教育学校の校名について（継続審議） ・準要保護の認定について ・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について ・浅口市子ども・子育て会議委員の委嘱について
11月定例会	11月21日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市立学校の設置及び廃止について
12月定例会	12月15日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市熱中症対策ヘルメット購入費補助金交付要綱の制定について ・浅口市放課後児童健全育成事業の届出等に関する要綱の一部を改正する告示について

			<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市きらきら賞受賞者の決定について ・令和6年度使用特別支援学級教科用図書の採択について
1月定例会	1月19日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について
2月定例会	2月16日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市保育所等物価高騰対策支援金交付要綱の制定について ・浅口市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
3月臨時会	3月1日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の懲戒処分について
3月定例会	3月8日	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教育職員たる校長の任免の内申について ・浅口市部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について ・浅口市天文施設整備事業補助金交付要綱の制定について ・浅口市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市立幼稚園園則の一部改正する規則について ・岡山天文博物館条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市3歳未満児保育促進事業補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市生涯学習推進本部要綱の一部を改正する告示について ・浅口市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について ・浅口市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について ・浅口市文化財保護委員会委員の委嘱について ・令和6年度（2024年度）教育行政の基本方針について ・浅口市教育委員会事務局処務規則等の一部改正する規則について ・教育委員会事務局職員の教育次長、理事及び課長級の任免について

4 教育委員会の学校訪問

時期	訪問先	概要
5月18日	鴨方東小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
5月18日	鴨方東小学校放課後児童クラブ	保育参観
5月31日	金光吉備小学校、金光中学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
7月6日	鴨方中学校、鴨方西小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
10月30日	六条院小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
11月6日	金光竹小学校、金光小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
11月27日	寄島中学校、寄島小学校	授業参観、校長との懇談（県教育委員会幹部同行）
12月15日	金光幼稚園、寄島こども園、竜南保育園	保育参観、園長との懇談
1月19日	鴨方東幼稚園、鴨方幼稚園、六条院こども園	保育参観、園長との懇談

5 教育委員会議以外の活動状況

令和5年度の主な活動は次のとおりである。

時期	各種会議・関係行事	概要
4月5～ 13日	○市立学校・園入学式	・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校7校、中学校3校
4月18日 8月9日 12月15日 1月19日	○浅口市教育委員情報交換会等	・研修、情報交換 中央公民館
4月24日	○総合教育会議	・第1回 中央公民館 「寄島地区の義務教育学校について」
4月25日	○令和5年度教育問題懇談会	・WEB会議

5月8日	○岡山県都市教育委員会教育長協議会	・第1回定例会 津山市立図書館
5月18～ 19日	○全国都市教育長協議会定期総会 並びに研究大会	・第73回総会、研究大会 帯広市民文化ホール及びとちかちプラザ（北海道帯広市）
5月28日 9月24日 10月15日	○浅口市民体育祭	・金光大会 ・鴨方大会 ・寄島大会「寄島もやいの体育祭」
6月19日	○教育委員会視察	・府中市府南学園（併設型小中一貫校）
7月13～ 14日	○中国地区市町村教育委員会連合 会研修会	・出雲ロイヤルホテル（島根県出雲市） 「全ての生徒がやってみたいスポーツ文化活動に参加できる受け皿づくりを目指して」
7月18日	○教育委員会市内視察	・寄島小学校
7月19日	○岡山教育事務所管内教育長連絡 会議	・連絡会議 ピュアリティまきび
9月7日	○令和5年度市町村教育委員会研 究協議会前期（文部科学省）	・WEB研修会 ・分科会「学校における働き方改革について」「地域と学校の連携・協働について」
10月13日	○岡山県教育長と市町村教育長と の意見交換会	・意見交換会 ・WEB会議
10月19日	○中国地区都市教育長会定期総会 並びに研究協議会	・定期総会、研究協議会 サン・ピーチOKAYAMA
10月24日	○岡山教育事務所管内教育長連絡 会議	・連絡会議 サン・ピーチOKAYAMA
10月24日	○岡山県市町村教育委員会連絡協 議会	・総会 ・書面開催
11月10日	○鴨方西小学校研究発表会	・「え、なんで？」からはじまる算数課 の授業づくり
11月21日	○学校給食センター視察及び学校給 食の試食	・学校給食センター
11月21日	○総合教育会議	・第2回 中央公民館 「学校給食費の公会計化について」
11月22日	○岡山県都市教育委員会教育長協 議会	・第2回定例会 瀬戸内市立牛窓町公民館

11月24日	○令和5年度岡山市町村教育委員会委員研修会（市町村教育委員会連絡協議会研修会）	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB研修会 ・テーマ「教員の魅力向上や働き方改革」
12月21日	○令和5年度市町村教育委員会研究協議会後期（文部科学省）	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB研修会 ・分科会「学校における働き方改革について」
1月7日	○二十歳の集い	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流館サンパレア
1月20日	○浅口市きらきら賞表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館
3月12日～25日	○市立学校・園卒業式	<ul style="list-style-type: none"> ・市立保育園1園、幼稚園3園、こども園2園、小学校7校、中学校3校

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市の教育行政の方向性を定めていけるよう工夫していく。 ・学校・園訪問を適切な時期・方法で継続し、授業参観や校園長と懇談を行い、教育現場の実態把握に努め、具体的な指導・支援を講じていく。 ・総合教育会議を通じて、市長とより緊密に連携を図りながら、教育行政を推進していく。 ・小中一貫教育の推進のため、研修会等への参加や先進地視察を行い、各地域に適した方向性を検討していく。また、寄島学園開校に向け、引き続き取り組んでいく。
自己評価	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問では、市内公立16校園へ訪問した。授業や保育現場の参観、校園長との懇談を行うことで、教育及び保育現場の意見を積極的に聴くことに努めた。また、教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、事務局へ報告を求め、情報交換会やオンライン研修会に出席する等、教育行政に関する見識を深め、積極的に諸課題に対応し、教育現場や事務局と連携を図りながら、指導・支援を行うことができた。 ・総合教育会議では、「寄島地区の義務教育学校について」、「学校給食費の公会計化について」の2件について、市長と現状確認や協議、意見交換を行い、教育課題に対する共通理解を図ることができた。 ・学校の新たな形である「義務教育学校」について研究し、寄島学園開校に向け道筋をつけることができた。

Ⅲ 点検・評価の結果

基本方針 1 幼児教育・学校教育の充実

＜基本事業＞確かな学力向上の推進(キラリと光る未来プロジェクトの推進)

【担当：学校教育課】

		事業の内容	事業概要
確かな学力向上の推進	学習指導方法の工夫・改善		<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営アクションプランに基づいた学校訪問の充実 ・浅口市教育委員会・小教研・中教研における研究推進 ・国、県の学力・学習状況調査の分析と結果の活用 ・授業改革推進員、指導教諭による授業改善の推進 ・主体的な学びづくり事業による基礎学力の向上
			<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教委の訪問により、学校経営アクションプランに基づいた説明や授業参観、協議を行い、授業改善を含めたよりよい学校経営に生かされるよう充実を図った。 ・鴨方西小において研究発表会を開催し、研究主題に沿った研究実践を共有し、魅力ある授業の実現に向けて研鑽を深めていった。 ・学力調査結果の分析を行い、各校の成果や課題を整理し、さらに学校間で情報共有をすることで、授業改善や学校課題の解決に努めている。
	小中一貫教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校の指定による更なる小中一貫教育の推進 ・「小中一貫教育研究推進チーム(仮)」による各教科等教育の充実 ・義務教育学校についての調査・研究 ・あさくち未来学の研究・実践
			<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区を小中一貫教育校に指定し、一貫教育カリキュラムの実践を充実させた。 ・小学校での一部教科担任制により、空き時間の確保や授業の質の向上を図ることができた。 ・理科教育・英語教育に関しては、継続的な取組により、小中一貫教育の視点での研究実践を積み重ねた。 ・令和4年度に作成した各「あさくち未来学」のカリキュラムをもとに実践し、地域資源や地域人材を活用した、特色ある取組を展開することができた。

	保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校園長会、校長会、教頭会との連実連携 ・ 担当者別研修会（教務、養護教諭、生徒指導、不登校担当者、特別支援教育コーディネーター等）の充実 ・ 園小接続カリキュラムに基づく園小連携の推進
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校園長会や担当者会において、取り組みや課題の協議を行った。 ・ 担当者研修を計画的に開催し、諸課題についての協議や情報共有を図った。 ・ 園小連携については、園小接続カリキュラムの見直しを行い、カリキュラムに基づいた系統的な指導を行い、より円滑な接続につなげることができた。
	外国語教育・国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検準2級以上取得した児童生徒に報奨金交付 ・ 外国語指導助手（ALT）の活用 ・ 英語教育指導員の配置 ・ ALT研修会及び授業研究による英語教育の充実
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALTを市内全ての公立保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校に配置し、系統的に指導を行い英語教育の充実を図っている。 ・ 英語専科加配、小中連携加配教員により、市内全ての小学校3・4・5・6年生で充実した英語教育を展開した。 ・ 英語教育指導員による授業参観やALT研修を定期的に行い、よりよい授業づくりを目指した。 ・ 倉敷の学校とオンラインで2回授業を実施し、交流することができた。
特別支援教育の充実	事業の内容	事業概要
	特別支援教育の推進と体制整備に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校園における特別支援教育推進体制整備への支援 ・ 学校の実態に即した生活支援員の配置と活用 ・ 通常学級及び特別支援学級における児童生徒に関する指導・支援の充実 ・ 「就学前からの特別支援教育拠点化推進事業」を活用した特別支援教育推進体制と専門性向上に関する実践研究 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各校園において特別支援教育の中心となる教員を位置づけ、組織的、継続的な支援ができるように体制を整えている。 ・ 県の専門指導員派遣事業、総合教育センターの学校コンサルテーション事業（金光竹小、金光吉備小で実施）を活用し、専門的な助言を基に指導支援の改善を図った。 ・ 金光小学校言語障害通級指導教室、六条院小学校の自閉症・情緒障害通級指導教室では、個別の障害特性に合わせた指導支援を行うことができた。

社会に開かれた学校づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・支援委員会で審議する名簿提出を7月に早めることで、審議に向けた準備を充実させることができた。 ・利用人数 ことばの教室（22人）あすなろ教室（17人）
	研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害種別に応じた特別支援教育の研修の充実
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援員を対象とした個別支援の在り方等についての特別支援教育の研修会を実施し、個別対応の仕方や配慮する点について研修を深めた。
	就学指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園及び関係機関と連携した個に応じた適切な学びの場を考える就学指導の充実
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導等連絡協議会を実施し、就学前の子どもの実態について情報を共有している。 ・支援を必要とする子どもたちへの適切かつ継続的な支援とするため、特別支援教育担当者に対して支援委員会の持ち方や個別の教育支援計画の作成と共有、引継ぎについて確実に行うよう働きかけた。 ・保護者を対象として、就学指導の流れについて説明する機会を設けている。
	適切な支援を考えるケース会議の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会実務者会議等を通じての情報の共有 ・適切な教育・保育・家庭支援のためのケース会議への支援
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・関係課・機関と情報の共有を密にし、対象となる児童・生徒への支援方針や体制を確認した。 ・学校でのケース会議に専門的な立場の先生やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等が参加し、今後の支援方針や体制について協議することができ、支援の方向性について共有化を図った。
事業の内容	事業概要	
社会に開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園評価を活用した学校経営方針の決定 ・「社会に開かれた教育課程」の実践 ・学校運営協議会の定期的な実施と地域学校協働活動との一体的な推進支援 	
	取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より小中一貫教育校として指定し、小中一体となり教育を進める体制をつくることができた。 ・小中一貫教育の取組について学びや活動の様子を市のホームページや広報誌を活用して地域・保護者へ発信した。 ・コミュニティ・スクール（CS）推進については各校、各地区の学校運営協議会が特色ある取組を検討、実施し、着実に進んできている。 	

教育の充実のための学校組織体制		<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会と地域学校協働本部との一体的な推進を意識した取組も進んできている。
	事業の内容	事業概要
	教職員の適正な配置と加配教員等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修等各種職階別研修の充実 ・加配教員等を活用した学校運営や教育内容の充実のための指導・支援
		取組状況
	教職員のサービスの厳正	<ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市、井原市、里庄町、矢掛町、早島町と連携し、キャリアステージに応じた研修（合同若手研修、合同中堅研修）の場を設定した。 ・各校へ加配の目的を明確に伝え、目的に合った適切な指導・支援となるように指導を行った。また、加配による成果について確認した。
		取組状況
	人事評価システムの適正な運用と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会及び管理職研修によるサービスの厳正 ・教職員ストレスチェックの実施 ・教職員の不祥事防止のためのコンプライアンス研修の推進
		取組状況
	人事評価システムの適正な運用と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の育成・評価システムによる教職員の資質能力の向上及び学校組織の活性化
		取組状況
人事評価システムの適正な運用と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質能力の向上と学校組織の活性化に結び付けられるように「教職員の育成・評価システム」に基づいた適切な運用となるように校長会で継続的に指導をした。 ・面談等の確実な実施とその把握のためにチェックリストを作成し、活用することで確実な評価につなげた。 ・管理職へは、適切な評価ができるよう、日々の授業観察や教職員とのコミュニケーションの重要性について指導した。 	

	教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人的配置（学級アシスタント、部活動指導員等）による勤務負担軽減の取組 ・校務支援システムや学校用グループウェア等の活用による効率的な職務の遂行
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業準備支援や児童・生徒の個別支援を行う教師業務アシスタントや学級アシスタントを配置することにより、教職員の負担感の軽減につながっている。 ・部活動指導員配置事業を活用し、5名の指導員（陸上・剣道・野球・卓球・吹奏楽）を配置し、教員の負担軽減につなげることができた。 ・学校用グループウェアの活用により、学校間の連絡や情報共有などが効果的に行われ、負担軽減につながっている。 ・校務支援ソフトを活用し、成績処理や指導要録の管理等について効率化が図られている。 ・保護者連絡アプリ「コドモン」を導入し、電話対応の負担を軽減することができた。
個に対応した家庭支援・援助	事業の内容	事業概要
	就学（園）援助	(小学校・中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・要保護、準要保護の認定 ・認定された就学者へ、医療費・修学旅行費等の給付（保育園・幼稚園・こども園） ・生活保護世帯等の就園者へ、保育に必要な物品等の購入に要する費用の給付（実費徴収に係る補足給付事業）
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> (小学校・中学校) <ul style="list-style-type: none"> ・認定された対象者に対して、適切に就学援助費の支給をすることができた。 (保育園・幼稚園・こども園) <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯の給付対象者に制度の周知を図り、給食費や園用品等費用の一部給付を行った。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
家庭学習1日1時間以上の生徒の割合 ※岡山県学力・学習状況調査による	(中1)83.0%	(中1)74.9%

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(中3)65.0%	(中3)64.2%

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で学力調査の結果を丁寧に分析し、成果と課題を捉えていくことは子どもたちの学びや育ちを考える上で大切であると考えている。 ・鴨方中学校に続いて金光中学校にも「自立応援室」を設けて、細やかな支援を行い心が落ちつく居場所づくりを進めた。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく。 ・令和5年度からは中学校区で「小中一貫教育校」の指定を行っており、より一層協働・連携を推進している。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区を小中一貫教育校として指定し、各校での取組を継続的な推進と教科担任制の取組や乗り入れ授業、理科教育や英語教育の継続的な実践により、心豊かでたくましい児童・生徒の育成に努めることができた。 ・端末を活用した授業実践が着実に進んだ。今後個別最適な学び、協働的な学びにつなげ、主体的・対話的で深い学びへと展開していくようにする。

<基本事業>心の教育の推進 **【担当：学校教育課】**

	事業の内容	事業概要
心の教育の推進	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園における「あいさつ運動」の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校で、参観日・学校公開・オープンスクール等において、道徳の時間の授業公開を行っている ・市内各校で学校運営協議会の活動が軌道に乗り、様々な体験活動や学習支援を行っている。あいさつの取組は多くの学校で重点課題として取り組んでいる。
	学社連携による体験学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・育成講座の充実による中学生のボランティア参加推進 ・地域学校協働活動の推進 ・「夏GAKUサプリ」を通しての体験活動等の充実 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部と連携して地域人材を外部講師やボランティアとして招聘し、学習・体験活動の支援してもらった。また、活動の様子を学校便りやホームページで、保護者や地域への情報発信を積極的に行った。 ・中学生のボランティア育成が計画的に行われ、イベントの企画、運営に関わりながら、主体的に地域貢献していこうとす

	<ul style="list-style-type: none"> る姿勢が高まってきている。 ・夏GAKUサプリーについては、中学生・高校生のボランティア参加もあり、学習、体験活動の充実を図ることができた。
教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置と効果的な活用 ・定期的な教育相談の実施
	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーは、県の配置により、市内全ての小学校・中学校に配置されている。児童・生徒・保護者等の悩みの相談を通して、心のケアを行うことができた。 ・青少年育成センター相談事業については、学校と連携を図りながら対応や取組を進め、児童生徒への適切な支援や学校への助言を行うことができた。 ・スクールソーシャルワーカー等については、全ての学校を巡回し、定期的な情報共有の場を設ける等家庭と学校をつなぐ役割を果たしている。 ・各校において学校ごとに教育相談を実施し、不登校、社会・学校不適応、一般育児問題等の相談を行い、児童生徒の把握に努めている。
適応指導教室事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導内容の充実 ・指導員と在籍学級担任との情報連携の促進 ・指導員の協働連携体制・円滑な運営体制の整備 ・カウンセラーの配置による心のケア
	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室「大簡塾」は、落ち着いた環境の中で活動している。学校に行きづらい児童・生徒の居場所づくりにするとともに学習支援等を行い、学校復帰に向けた取組を行った。 ・令和5年度は9名の児童・生徒が利用した。 ・在籍学校と情報の共有や在籍校の先生方と適切に連携・交流を行い、学校復帰に向けていった。 ・訪問カウンセラーを大簡塾に配置し、大簡塾に通う児童・生徒や保護者の心のケアや相談に対応した。
生徒指導の充実 (不登校対策・いじめ問題対策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査（i-check等）を活用した生徒指導の充実 ・登校支援員等による児童生徒への登校支援体制の充実 ・生徒指導担当者（不登校、いじめ問題等）の研修 ・いじめ問題対策連絡協議会の実施 ・中学校における別室支援の取組の推進
	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合質問紙調査（i-check）を年2回実施し、児童・生徒の心身の状況をきめ細やかな把握に努めた。 ・県の事業を活用した市内小中学校への登校支援員の配置、新たに金光中への自立応援室の開設を行い、不登校傾向の児童・生徒に対して指導支援を行った。

		<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題対策連絡協議会は、市内の現状やいじめ問題への対応の在り方について協議した。
	就学前の教育支援	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・幼稚園・こども園教育への指導・支援の充実 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育未来課・健康こども福祉課と連携を図り、就学についての相談の機会を設け、助言等を実施した。 「園小接続カリキュラム あさくち」に基づき、園と小のつながりを大切にしながら系統的な支援の充実に努めている。
人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育推進計画に基づく事業推進への指導・支援 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校において、人権教育年間計画に基づき、教職員研修を計画的に実施している。 人権集会を実施し、子どもたちと共に人権について考える機会をもった。
		<ul style="list-style-type: none"> P T A人権教育の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置付けて推進している。 ひとつづくり推進課との連携により、各園・小・中学校P T A人権教育研修会の実施している。 P T A指導者養成講座を5回実施した。
	保護者・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> P T A人権教育の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置付けて推進している。 ひとつづくり推進課との連携により、各園・小・中学校P T A人権教育研修会の実施している。 P T A指導者養成講座を5回実施した。
		<ul style="list-style-type: none"> P T A人権教育の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置付けて推進している。 ひとつづくり推進課との連携により、各園・小・中学校P T A人権教育研修会の実施している。 P T A指導者養成講座を5回実施した。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
学校に行くのが楽しい生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(小6)肯定率 83.0% (中3)肯定率 82.0%	(小6)肯定率 86.7% (中3)肯定率 72.8%
(参考)全国平均	(小6)肯定率 85.3% (中3)肯定率 81.8%	
(参考)県平均	(小6)肯定率 86.0% (中3)肯定率 83.2%	

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
「認める、ほめる、励ます」活動により肯定的に感じている児童生徒の割合 ※i-check調査項目による	(小6)肯定率 89.0% (中3)肯定率 90.0%	(小6)肯定率 86.4% (中3)肯定率 91.3%
児童生徒が夢や希望を持つ ※i-check調査項目による	(小6)肯定率 85.0% (中3)肯定率 73.0%	(小6)肯定率 89.1% (中3)肯定率 75.9%
児童生徒の自己肯定感の向上 ※i-check調査項目による	(小6)肯定率 73.0% (中3)肯定率 70.0%	(小6)肯定率 69.3% (中3)肯定率 70.4%

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に地域の方々が参画しながら子どもたちの育ちを支えてくれる風土が醸成され、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な教育を推進することができている。 ・小学校と中学校との連携がより一層深まり、連続性のある教育が充実しつつある。 ・小学校、中学校ともに不登校数は増加傾向にある。今後も教育相談や総合質問紙調査等を分析し、児童生徒の実態や状況を捉え、関係機関ともつながりながらきめ細やかな対応を進めていく必要がある。 ・適応指導教室がよりよい居場所となっている子どももおり、今後さらに充実していきたい。
自己評価	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が学校運営協議会での協議を通じて、子どもたちの心の育ちを支えてくれている。 ・また、県事業であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、自立応援室等を活用しながら不登校傾向児童生徒への支援をし、心に寄り添う関わりを行うことができた。 ・不登校傾向の児童生徒は増加傾向にあり、適切な対処や支援が求められている。

<基本事業> 体育・健康教育の充実

【担当：学校教育課】

	事業の内容	事業概要
体育・健康教育の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育連盟・中学校体育連盟関係事業の支援 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果の活用 ・部活動の地域移行に係る検討会の実施
	体力づくり・スポーツ活動の推進	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・小体連が主体となり、市陸上記録会を実施することで、運動への興味・関心を高めることができた。 ・全国体力・運動能力・運動習慣等調査の実施と結果を基に、各校で分析を行い、指導改善に努めている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための学校園対応等の共有と対策の徹底 ・教職員及び園児・児童・生徒の健康診断実施
	心身の健康の保持増進	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での身体計測のときには、養護教諭による保健指導を計画的に取り組んだ。 ・性教育、薬物乱用防止教育については、児童生徒にとって大切な学習であるにとらえ、玉島警察署と連携しながら計画的

		に学習に取り組んでいる。
	望ましい食生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食における食物アレルギー対策委員会の実施 ・栄養教諭等による食育指導の充実 ・食育全体計画の作成と実践 ・給食における地産地消の推進 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けての給食対応を決定する「食物アレルギー対策委員会」を毎年開催し、安全・安心な給食提供に努めている。 ・各校において食育全体計画を作成し、それに基づき、栄養教諭が学校に赴き、食育指導に計画的に取り組むことができた。 ・地産地消の推進を意識した学校給食献立を作成した。各校からのリクエスト献立も取り入れた。
	子どもたちの安全・安心な生活の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園における月例安全点検の実施 ・登下校の児童・生徒の安全指導の充実（地域の見守り活動との連携） ・「浅口市通学路等交通安全プログラム」による合同点検の実施 ・浅口市青少年育成センター、玉島警察署、補導協議会等関係機関との連携 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園では定期的に安全点検を実施し、施設設備の確認を確実にしている。 ・各学校園の危機管理体制の強化と児童・生徒等の安全意識の向上を図るため、対応の手引の確認、見直しや平素の訓練の実施により、安全教育の一層の推進に努めるよう指導している。 ・本市の「通学路等交通安全プログラム」に基づき、関係機関と連携し、児童・生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図った。 ・配慮を要する児童・生徒への対応や緊急対応が必要な事案については、青少年育成センター等との連携を図り、相談員の巡回訪問等を行い、適切かつ迅速な対応ができた。 ・玉島警察署・補導協議会・見守り隊等多くの関係機関との連携により、児童・生徒の安全な暮らしを推進することができている。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
朝食摂取する生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査による	(中3)90.5%	(中3)92.2%

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの運動量及び運動機会の確保に努める必要がある。 ・学校によっては運動能力に偏りがあつたり、低下傾向であつたりするところもある。学校全体としての取組を検討することも大事である。 ・交通安全に関しては、道路整備や安全施策も大事であるが、子どもたちへの安全指導も重要である。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路等安全プログラムでは、各校からの改善要望をふまえて、関係機関と協議を行い、できる限り迅速に対応し安全確保に努めた。 ・体育の授業や業間運動を工夫しながら体力向上の取組を推進した。ただ、子どもたち個々において体力面での課題はあり、今後個々の実態に応じた取組の工夫が必要と考える。

＜基本事業＞ デジタル社会に対応した教育の充実

【担当：学校教育課】

	事業の内容	事業概要
G I G A ス ク ー ル 構 想 の 推 進		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校におけるG I G Aスクール構想によるI C T機器の効果的な活用の研究推進 ・プログラミング教育用教材の活用推進 ・I C T支援員の配置と適切な授業支援 ・メディアとより良く付き合う力を育むデジタルシティズンシップ教育とメディアコントロールの推進 ・タブレット端末持ち帰り実施による家庭学習の充実
	G I G Aスクール構想の推進	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業での端末を活用する場面が増えている。 ・担当者による校内研修を実施したり、授業を公開したりして、1人1台端末を授業のどの場面で、どのように活用できるかを考え、個別最適化された学びや協働的な学びの研究が進み、学習活動場面での端末活用の幅も広がっている。 ・G I G Aスクール構想を推進するための担当者研修を行った。 ・よりよい使い手の育成のため、「G I G Aワークブック」の年間計画を作成し、計画的に進めている。 ・また、端末の家庭への持ち帰りも日常化し、家庭学習と授業の連携が進みつつある。

指標	目標(令和5年度)
授業における端末活用の頻度(半分以上の割合)	(小) 50.0% (中) 50.0%
授業の中で児童生徒が端末を利用して情報収集を行う活動を設定している割合	(小) 70.0% (中) 65.0%

※全国質問紙の項目内容が変更になったため下記のように指標を変更します。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しました。(ほぼ毎日の割合)	(小) 50.0% (中) 50.0%	(小) 53.8% (中) 24.1%

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・授業場面での端末活用に関しては、積極的な活用が進んできている。 ・活用を進めていこうとする流れは大きくなっているが、中学校での活用が進まない現状がある。 ・また、教職員個々の活用意識の差やスキルの差によって、端末活用が進みにくい場合も散見される。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度以上に学習場面における端末の活用が進んできている。 ・教職員のスキルにより、活用の程度に関してはまだ差が見られるが、研修等を通して、徐々に抵抗感が少なくなりつつある。 ・メディアとの付き合い方、情報活用の担い手として考えられるように「GIGAワークブック」の年間計画を作成し、より実践しやすいものにすることができた。 ・課題であった夜間利用に実態を克服するため、夜間制限アプリを導入することで成果を出すことができた。

学習環境の整備・充実	事業の内容	事業概要
	施設・設備等の整備・充実	<p>【学習環境の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机椅子更新（金光小学校、寄島小学校）など <p>【施設・設備等の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金光吉備小学校家庭科室調理台整備工事 ・鴨方東小学校プール、土間塗装及び排水口改修工事 ・六条院小学校特別教室棟屋上防水シート改修工事 ・金光中学校、六条院こども園照明器具LED化工事実施設計 ・金光中学校普通教室扉改修工事 ・鴨方中学校北校舎普通教室扉修繕 など <p>【感染症対策に関する整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室等手洗い場蛇口交換 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <p>【学習環境の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄島学園改修工事実施設計 令和5年11月完了 ・机椅子更新（金光竹小学校・金光小学校・寄島小学校） 3校 令和5年7月、令和6年3月完了 ・エアコン新設（金光小学校） 令和6年3月完了 <p>【施設・設備等の整備・充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金光吉備小学校家庭科室調理台整備工事 令和5年8月完了 ・鴨方東小学校プール、土間塗装及び排水口改修工事 令和6年2月完了 ・六条院小学校特別教室棟屋上防水シート改修工事 令和5年9月完了 ・金光竹小学校北校舎屋上防水シート改修工事 令和6年1月完了 ・六条院小学校プールオーバーフロー部ほか防水更新工事 令和5年12月完了 ・金光中学校給食受入施設及び職員トイレ屋上防水シート改修工事 令和6年2月完了 ・金光中学校・六条院こども園照明器具LED化工事実施設計 令和5年8月完了 ・金光中学校普通教室扉改修工事 令和5年9月完了 ・鴨方中学校キュービクル増設工事 令和5年8月完了

	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨方中学校北校舎普通教室扉修繕工事 令和5年9月完了 ・鴨方中学校車いす用階段昇降車購入 令和6年3月完了 【感染症対策に関する整備・充実】 ・小中学校手洗い場等水栓取替 102箇所 令和5年8月完了
--	--

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
照明器具LED化工事実施設計完了校園数	3校園	3校園

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年代から昭和50年代にかけて建築された学校施設が多く、更新の時期を迎えつつある。限られた財源や人員の中で、計画的に学校施設改修を行うため策定された学校施設長寿命化計画に基づき中長期的な計画のもとトータルコストの縮減や予算の平準化などを図ることが重要である。 また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。 照明設備が水銀灯や蛍光灯からLEDに移行していることから、計画的に学校施設のLED化を実施していく。 ・教育環境の整備には予算の裏づけが必要となるため、各学校・園の状況を正確に把握し、優先度を付けて対応しなければならない。しかし、財政状況が厳しく、要望が全ては予算化されていないのが現状である。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全・安心を最優先に捉え、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕を行うことができた。また各学校・園が必要とする補修や改修について予算の範囲内で計画的に取り組み、適切な環境整備に努めた。特に突発的な修繕等についても、予算の範囲内で臨機応変に対応することができた。 ・寄島地区の義務教育学校である浅口市立寄島学園開校の準備のため、改修工事の実施設計を学校と調整し行った。

基本方針 2 豊かな人生を育む生涯学習の充実

<基本事業>生涯学習の充実

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
人材育成活動の推進	地域を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中高生と大人の語り場作り ・地域人材の発掘・育成 ・中学生・高校生ボランティアの育成 ・地域コーディネーター等のボランティアの育成 ・ボランティア育成のための研修会、情報交換会の開催
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中高生と大人の語り場作りとして、「第2回浅口市中高生だっぴ」を実施した。 ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアを学校の要請に基づいて活動した。また、各小・中学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。
生涯学習活動の推進	事業の内容	事業概要
	生涯学習推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の生涯学習拠点施設の活用推進 ・社会教育団体の支援、育成 ・市内高等学校及び近隣大学との連携強化 ・ドローン体験教室・スマートフォン講座などICTを活用した新たな講座等の創出・実施
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン操作体験会やスマホ教室などを引き続き実施した。 ・市民を対象とした各種講座等は、感染症の防止対策を講じて開講した。 ・社会教育団体の活動に対して、支援や助言を行った。 ・公民館のWi-Fi環境を活用し、リモート会議やネットを使った事業を実施した。
市民ニーズに対応した学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・天草学級・老人大学などの各種講座による多様な生涯学習機会の提供 ・学びの成果を生かす機会の提供と充実 	
	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草学級・シーサイド大学・老人大学（金光9回、鴨方6回、寄島6回）を実施した。 	

公民館活動の推進	事業の内容	事業概要
	地域と連携した公民館活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用した各種講座の実施 ・自主グループの育成 ・講座生等の成果発表の場の拡充
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の講師・放課後子ども教室の講師に地域の人材を活用し、各種講座を実施した。小学校7校でドローン教室を開催した。 ・各公民館において、自主グループが社会教育の目的を持ち、感染症の防止対策を施しながら活動した。
幅広い層へ学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室等、子ども向け講座の実施 ・各公民館における公民館講座の開催 ・住民の要望やコロナ禍などの多様なニーズに応じた短期講座の充実 	
	取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象としたボランティア育成講座を行い、30人以上が受講した。ボランティア活動を通じた体験と学習をキーワードに、1学期は「夏GAKUサプリ」、2学期は「天体観望会」、3学期は「子どもまつり」をテーマに取り組んだ。 ・公民館講座は、各公民館で開講し、20講座を開催した他、数回の短期講座を開催した。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を、小学校で12回実施し、約80人の児童が参加した。5月から3月の土曜日には、公民館で週末体験教室を14講座開催し、178人が受講した。 ・夏GAKUサプリは、金光公民館、中央公民館及び寄島小学校で52教室開催し、延べ973人参加した。 ・シニア向けスマートフォン教室・SNS講座を3公民館で15教室開催し、約60人参加した。 ・冬GAKUミニサプリを冬休みに初開催した。金光公民館、中央公民館及び寄島小学校で20教室開催し、延べ291人参加した。 	
図書館活動の推進	事業の内容	事業概要
	図書館活動の推進、啓発、充実	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じた図書等の収集・保存・情報提供 ・図書館・保育施設・学校等、市内施設での図書の読み聞かせ事業等の実施 ・館の特色に応じた講座、展示など広く読書に親しんでもらうための事業の展開 ・広域連携ネットワークを利用した県立図書館等市外他館との貸出連携 ・インターネットを利用した図書貸出の推進

		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の防止対策を講じながら、図書館事業を実施した。 ・市立図書館合同の読書週間行事事業（シールラリー）ほか、各館の特色を生かした学校との連携企画、お話し会、企画展示、講演会、映画会などの事業を実施した。
広報・啓発活動	事業の内容	事業概要
	様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ホームページ、メールサービス等を利用した参加者の募集、各種イベント情報の周知
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙・折込チラシで公民館講座生の募集を行った。 ・ホームページへ公民館講座の実施内容を掲載するとともに、講座生募集期間中は電子申請での申し込みを受け付けた。
家庭教育の推進	事業の内容	事業概要
	子育てに関する学習機会の提供、相談・支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育学級」、「家庭教育支援事業」などによる学習機会の提供 ・各種団体、機関等と連携した「届ける」家庭教育支援への取組 ・親育ち応援学習プログラムを活用した「親力アップ」の推進
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校において、就学時の健康診断等の機会を捉えて、参加型学習プログラム「親育ち応援学習プログラム」や講演を6校で実施し、延べ213人参加した。
学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	事業の内容	事業概要
	地域学校協働本部事業をはじめとする、学校、家庭、地域が連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動事業の取組 ・大人も子どもも育ち合う、地域教育力向上のための体制整備 ・地域学校協働活動推進員の活動支援
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育を地域ぐるみで支援するため、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアが学校の要請に基づいて活動した。また、各小・中学校に地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と学校支援ボランティアの連携に努めた。
子ども体験活動教室を中心に地域ボランティアと連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における子ども体験活動教室の開催 ・「夏GAKUサプリ」の充実 ・新・放課後子ども総合プランに基づく、放課後児童クラブとの一体型の放課後子供教室を市内全小学校で実施 	
	取組状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの方々を講師とし、13講座の教室を開催した。 ・夏GAKUサプリは3公民館で52教室、延べ973人が参加。 ・冬GAKUミニサプリを初開催し、計20教室、延べ291 	

子ども読書活動の推進		<p>人が参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一体型の放課後児童クラブ・放課後子ども教室を小学校で11回実施し、地域のボランティアを講師に迎え、工作・ニュースポーツ・ドローン体験等を実施した。 	
	事業の内容	事業概要	
	「子ども読書活動推進計画」に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> 同じ目的で活動している機関・団体との連携によるネットワーク構築 活動の場の充実や情報提供 	取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 各館の特色を生かした子どもの読書週間企画を実施した。 子ども用の図書館利用案内を新たに作成した。 学校と図書館との連携強化を行った。(学校を通じた図書利用カード作成のしくみ化の立案と実施、学校司書と図書館司書の連絡会の開催) 広報紙・ホームページ、マスコミへの情報提供による広報活動を充実した。 各校からの要請に応じて、職場体験を行った。 	
	発達段階に応じた子どもの読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた読書を生活リズムの中で位置付けられるような活動の推進 	取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> 小学校低学年向け・高学年向け、中学生向けの図書館だよりを年3回発行した。 小学生の図書館見学の受け入れを行った。 読み聞かせボランティア等対象の講座を実施した。 		

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
公民館講座・短期講座数	38講座	33講座
公民館利用者数	50,000人 (12月末現在)	39,549人 (12月末現在)
放課後子ども教室の実施回数	20回	11回
Wi-Fi環境を活用した講座等の実施回数	7回	15回
貸出図書数	135,000冊 (12月末現在)	125,416冊 (12月末現在)

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に新規で立ち上げた「ボランティア育成講座」「スマホ教室」「プログラミング教室」は今後も充実させていく。 感染症の防止対策を講じながら、公民館講座等を実施した。 Wi-Fi環境を活用し、ボランティア育成講座、プログラミング教室、スマートフォン教室を実施した。 公民館講座は、市民のニーズに沿った新たな定期講座や短期講座を
--------	---

	<p>施することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭・行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。
自己評価	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2回浅口市中高生だっぴ」、ボランティア育成講座、ドローン関連講座、スマホ教室のほか、冬GAKUミニサプリを新たに実施するなど、様々な世代を対象に、時代に即した生涯学習・社会教育を推進することができた。

＜基本事業＞青少年健全育成団体の活動支援

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
青少年健全育成の推進	子ども育成条例に基づいた、家庭・学校・地域・企業及び行政が連携した教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子どもを育てるための学校・家庭・地域・企業及び行政等の連携強化
		取組状況
	青少年団体活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域・企業・行政のパイプ役として、青少年育成センターが中心となり、補導活動や啓発活動の取組を行った。
		取組状況
	青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市青少年育成活動協議会による研修会の実施 ・各団体への補助、支援
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成活動協議会による各種イベント等の支援を行った。 ・青年団協議会・ボーイスカウト・子ども会・はるか会・にじの会・風の子による青少年健全育成活動の支援を行った。
		<ul style="list-style-type: none"> ・青色パトロールや学校訪問による児童・生徒の安全確保強化 ・街頭補導業務 ・相談業務 ・有害図書回収等による環境浄化 ・街頭キャンペーン等による啓発活動の実施
	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・専任指導員及び指導員が中心となり、毎月実施の定例補導に加え、夜間特別補導や列車補導を実施した。 ・小・中学校へのあいさつ運動に参加し、地域に寄り添った活動を実施した。 ・相談員が定期的に市内小学校・中学校を巡回し、児童・

	<p>生徒の見守りを行いながら、学校との情報共有も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページを活用して、相談業務をPRした。 ・市内3か所に設置している白ポストを活用して、有害図書やDVDの回収を行った。 ・岡山県青少年健全育成強調月間にあわせ、7月と11月にJR鴨方駅・金光駅周辺で啓発活動を実施した。 ・3月に浅口市青少年育成活動協議会研修会を備中地域青少年相談員連絡会井笠地区と合同で実施し、詩吟の披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会を行った。
--	--

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成を目的とした各種団体間で連携を図るとともに、地域全体で家庭教育を行っていく社会構築が必要である。
自己評価	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成センター業務は、学校や警察署と連携し、きめ細やかな対応を行えた。

<基本事業>社会教育施設の整備・充実【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
社会教育施設の整備・充実	公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・施設間で情報を共有する等のネットワークの強化 ・各公民館及び図書館におけるWi-Fi環境の活用 ・金光公民館誘導灯LED化及び信号装置修繕
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・鴨方図書館の空調改修に着手した。令和6年度の早期完了を目指している。
	事業の内容	事業概要
岡山天文博物館の円滑な管理・運営	天文台のあるまちとしての特色を活かした博物館の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・開館記念日事業及び天文や宇宙に関する知識を深めるための事業の実施 ・タッチパネル式大型モニターなど新しい展示物の活用 ・広いスペースを生かした体験型事業や講演会の充実 ・SNS等を利用したオンライン事業や情報発信
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・開館記念日事業「あさくち天文台フェスタ」として、国立天文台、京都大学と連携し、工作や天文台ツアー、スタンプラリー、記念講演会等を行った。 ・小学校4～6年生を対象に、天文学の基礎や望遠鏡の使い方などを学ぶ体験講座「こども天文クラブ」を年7回開催

		<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月1日から「浅口市日本一の天体観測適地を守る条例」を施行したことに伴い、七夕の時期にライトダウンキャンペーンを実施した。 ・冬に「こどもまつり」と銘うち、工作教室や星に関するビンゴゲーム等、幼児や子どもを対象とした科学イベントを開催した。 ・その他各種講座・イベント（観望会・宇宙☆自然講座・望遠鏡工作・かがく広場・天文台講座・幼児向けプラネタリウム等）を開催した。また、プラネタリウム室の多目的利用として、コンサートや、新規で星空ヨガ、キャンプ体験などの事業も開催した。いずれも大変好評で、毎回ほぼ満員の参加者があった。 ・博物館通信を、市内小学校（4年生以上）・中学校に配布した。 ・3公民館、3図書館及び金光駅・鴨方駅構内通路の掲示板にイベントポスターを掲示し、広報に努めた。 ・「岡山天文博物館友の会」の定期活動を支援した。
	<p>国立天文台188cm望遠鏡に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育及び天文学の普及を目的とした188cm望遠鏡の学習利用及び観望会事業等の実施 ・188cm望遠鏡を利用した観光事業への協力 ※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cm望遠鏡の利用停止。復旧次第、事業再開予定。 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年秋のドーム事故によるメンテナンスのため、事業はすべて中止となった。
	<p>京都大学3.8mせいめい望遠鏡に関する事業協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・せいめい望遠鏡関連資材の展示協力 ・せいめい望遠鏡見学の受入及び電視観望会の開催 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外回廊からの自由見学を引き続き実施した。 ・天文台ドームの中での望遠鏡見学ツアーは、開館中は月2回程度の頻度で実施した。 ・電視観望会を季節ごとに年4回開催した。
	<p>岡山理科大学、京都大学との教育協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館主催事業への講師派遣 ・中学校等での出前授業等 ・博物館実習の受入 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山理科大学との教育協定に基づき、天文教育普及と人材育成を目標に同大と連携し、博物館実習の受け入れを行った。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
岡山天文博物館事業数	19事業	17事業

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各施設を適正に管理し、修繕等により利用者の安全と利便性の向上に努める。 ・全国の施設及び観光地の受け入れ制限がなくなったことにより、観光に訪れる人々も各所に分散した影響からか、岡山天文博物館の入館者数は横ばいとなった。今後も教育及び観光の両方の活用を視野に入れ、積極的な事業展開と広報を行っていく。 ・京都大学、国立天文台とより連携し、魅力的な事業を展開し周知していくことが課題である。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公民館は修繕工事により安全性と利便性の維持に努めているが、施設の老朽化もあり、今後も適切なメンテナンスが必要である。広く市民に利用を促し、社会教育・生涯学習の促進を図っていく。 ・岡山天文博物館では、予定していた事業はすべて実施することができた。また学校との連携に向けて、授業の様子を視察したり、学校との検討会議に参加したりするなど、継続して行うことができた。 ・国立天文台や京都大学と協力し、施設の特別公開等の記念事業等を開催できた。また、せいめい望遠鏡等で撮影した天体画像等の紹介動画の配信や、電子観望会の開催など、天文のまちあさくちならではの新たな事業を開催することもできた。国立天文台、東京工業大学との協定締結も6年目を迎え、より有効な活用方法を検討するとともに、関係各機関・部局との連携及び新たな事業展開が必要である。 ・各公民館や社会教育施設は修繕工事により安全性と利便性の維持に努めているが、施設の老朽化もあり、今後も適切なメンテナンスが必要である。広く市民に利用を促し、社会教育・生涯学習の促進を図っていく。

(参考) 資料3 関連

貸出図書数/年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
鴨方図書館	102,395冊	84,307冊	67,585冊	80,496冊	89,753冊
金光さつき図書館	56,074冊	57,823冊	37,333冊	45,521冊	52,526冊
寄島図書館	19,617冊	25,858冊	13,489冊	15,992冊	17,336冊
計	178,086冊	167,988冊	118,407冊	142,009冊	159,615冊

基本方針 3 スポーツ活動の振興

＜基本事業＞スポーツ推進計画の推進 【担当：ひとづくり推進課】

スポーツ推進計画の推進	事業の内容	事業概要
	スポーツ推進計画の推進	・スポーツ推進計画に基づく事業実施及び進捗状況の確認
		取組状況
	各種スポーツの推進	・スポーツ推進計画（計画期間：令和3年度～12年度）に基づき、市マラソン大会等を実施した。
		・ライフステージに応じたスポーツの推進 ・障害者スポーツの推進 ・スポーツ・レクリエーション活動の推進 ・ハイレベル技術に触れる機会の充実
取組状況		
	・スポーツ・レクリエーション活動の推進を行った。	

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
スポーツ教室の開催数	3回	2回

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた生涯スポーツの推進及びスポーツ・レクリエーション活動の推進を行っていく必要がある。 ・また、ハイレベル技術に触れる機会の充実を図っていく必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅口市マラソン大会を行うことができた。 ・放課後子ども教室で、ニュースポーツ体験をスポーツ推進委員が中心となり実施した。

＜基本事業＞各種スポーツ団体の育成・支援

【担当：ひとづくり推進課】

各種スポーツ団体の育成・支援	事業の内容	事業概要
	各種スポーツ団体の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動の充実 ・スポーツ協会、スポーツ少年団への活動支援 ・全国大会等に出場する選手への激励金の交付 ・国際大会等出場選手の激励懸垂幕の掲揚 ・中学校の休日部活動における地域指導者確保検討
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に各学校・園に対して市内スポーツ少年団の入団希望を募り、40名の入団希望があった。また、団員の追加募集も行った。 ・スポーツ推進委員による放課後子ども教室を2回実施した。 ・部活動の地域移行に向けて、「部活動地域移行推進委員会」を2回（9月・3月）開催した。内容は浅口市内の部活動の状況報告、今後の方向性についてグループ討議等を交えて意見交換を実施。（学校教育課と連携）

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
スポーツ推進委員による放課後子ども教室の実施数	各地域で2回以上	2回
激励金交付者(団体)数	58人(団体)	59人(団体)
スポーツ少年団への加入率	21.5%	19.5%

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画を基に、生涯スポーツの普及・推進に努め、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめるよう環境づくりを進めていく。 ・休日の部活指導の地域指導員への移行を見据え、今後、人材発掘を進めていく。 ・スポーツ少年団の指導者の発掘や資質向上のための研修参加の呼び掛けを引き続き行っていく必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種大会の参加者数やスポーツ少年団の入団員数をみると、これまでの広報活動には一定の成果が見られるが、少子化の影響により減少していくことが考えられるので一層の広報活動が必要だと思われる。

＜基本事業＞スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

【担当：ひとづくり推進課】

スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実及び活用	事業の内容	事業概要
	手軽にスポーツを楽しめる施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設予約システムの導入による利便性向上 ・天草公園武道館LED化 ・体育施設の改修及び老朽化した備品の更新 ・ニュースポーツ用品の計画的な整備 ・学校体育施設の開放
		取組状況
	利用者間の連絡、調整による有効活用及び利用者への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・天草公園武道館の照明をLED化する工事を行った。 ・市スポーツ協会、スポーツ少年団等の各種団体の事業計画に基づく調整 ・市内施設の貸出方法等の調整 ・ホームページ等による市内施設の情報発信
取組状況		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内施設の貸出方法等について協議し、予約システムの導入を開始した。 ・各種団体の事業計画に沿って調整を行い、各団体が必要とする体育施設を利用できるようにした。また必要に応じて代替施設を利用できるように調整を行った。 ・小学校でニュースポーツ体験教室（放課後こども教室）を2回実施し、ニュースポーツの普及に努めることができた。 	

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
スポーツ施設の利用者数	100,000人 (12月末現在)	94,891人 (12月末現在)
スポーツ・レクリエーション事業数	10事業 (12月末現在)	6事業 (12月末現在)

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各施設を整備し、利用者の利便性と安全性の向上に努めていく必要がある。 ・引き続きニュースポーツの整備に努め、他事業とも連携して普及の場を広げていく必要がある。
--------	--

自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育施設の更なる利便性・安全性の向上に努める必要がある。また、スポーツ推進委員が中心となりニュースポーツの普及・推進をしていくことで、スポーツに親しめる環境づくりができるものとする。 ・ 屋内施設については、常時の換気などを行う。
------	--

(参考) 資料3から抜粋

利用者数/年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
天草公園	67,576人	56,600人	47,458人	49,868人	71,026人
ふるさとかもがたプラザ	25,838人	10,975人	11,432人	14,559人	27,438人
鴨方B&G海洋センター	11,098人	-人	3,175人	8,916人	9,736人
遙照山総合公園	4,484人	5,085人	5,605人	7,675人	5,634人
金光駅西公園	16,898人	16,829人	15,959人	16,360人	13,540人
金光スポーツ公園	21,283人	18,854人	17,884人	18,867人	16,226人
寄島B&G海洋センター	15,753人	6,056人	6,223人	10,347人	9,258人
三ツ山スポーツ公園	42,018人	23,803人	18,672人	31,320人	44,164人
寄島運動場	4,083人	1,439人	1,519人	3,781人	4,134人
寄島東体育館	5,214人	4,587人	4,966人	7,103人	8,917人
寄島武道館	7,744人	4,431人	3,597人	5,536人	5,292人
寄島テニスコート	3,126人	2,660人	1,719人	2,984人	3,247人
フットサル場	11,946人	6,590人	5,281人	8,378人	11,909人
計	237,061人	157,909人	143,490人	186,694人	230,521人

＜基本事業＞コロナ禍により変化した社会における運動機会の確保

【担当：ひとづくり推進課】

事業の内容	事業概要
コロナ禍により変化した社会における運動機会の確保	コロナ禍での運動機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や屋内で行える運動遊びやスポーツメニューの情報提供 ・ 体温や消毒設備の設置及び換気等の感染防止対策の徹底
	取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内公共施設の予約システムの導入を進め、関係条例施行規則の制定を行った。

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設の予約システムを導入した。利用者の利便性向上等、利用促進に努める必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内公共施設の予約システムの導入を進め、関係条例施行規則の制定などの事務作業を行った。 部活動の地域移行に向けて、「部活動地域移行推進委員会」を2回（9月・3月）開催した。内容は浅口市内の部活動の状況報告、今後の方向性についてグループ討議等を交えて意見交換を実施。 浅口市のビジョンを早期に構築するために、人材確保や方向性及び現状の把握などの課題がある。

基本方針 4 歴史文化の保全活用と芸術文化の振興

＜基本事業＞歴史・文化的資源の保全・活用

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
文化財の保護・保存・公開・普及活動	歴史を伝える財産の適切な保全と資料館等での公開、伝承	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財等の調査や保護 ・市指定名勝三郎島（三ツ山）の景観復元 ・市指定天然記念物アッケシソウ自生地環境整備 ・市民の文化財等に対する理解や知識を深める機会の提供 ・文化財等管理団体の活動支援 ・埋蔵文化財の試掘確認調査等の実施及び遺跡や出土品の保護や記録保存 ・かもがた町家公園、阿藤伯海記念公園の管理運営 ・資料館での資料の公開 ・町並み保全
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・市指定有形文化財「龍宮門（旧正伝寺山門）」の計測調査を行った。 ・市指定有形文化財「円珠院石造大宝塔」では、実測調査を行い、文化財の現況を把握した。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、雑枝の伐採等の環境整備を継続的に行った。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、景観整備事業として植生調査、クロマツの種子及び苗木の植栽を行った。 ・市指定文化財「谷田来右衛門・谷田弥五右衛門墓碑」は、周辺の環境整備を継続的に行った。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、一昨年度A地区に設置した海水導入施設の効果により、アッケシソウの生育状態が良好となり、紅葉面積が拡大した。C・E地区の支障枝を伐採し、アッケシソウの生育環境の改善を図った。また、浅口市寄島町アッケシソウを守る会や岡山理科大学と協力して、調査や保護活動を展開した。アッケシソウキバガの食害対策として、薬剤散布を継続的に行い、初期段階で被害の拡大を防止できた。令和4年度に刊行したアッケシソウ自生地の調査報告書について、デジタル化を行い、市ホームページに掲載した。 ・北海道厚岸町において、本市のアッケシソウ自生地の保護活動等に関する講演を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の表示看板 1 基と案内看板 1 基を新たに設置した。 ・市内に所在する近代建造物調査を行い、保護及び指定等に必要の基礎データを収集した。 ・岡山県庭園悉皆調査事業では、岡山県教育庁文化財課と連携し、市内 10 箇所の庭園調査を行った。 ・浅口市文化財講座は、第 1 回「緑のアクセシソウを楽しむ会」、第 2 回「身近な歴史遺産 火の見櫓」、第 3 回「和田谷遺跡の発掘調査成果」を実施した。 ・第 70 回文化財防火デーに伴い、円珠院境内において鴨方消防署や消防団と協同で文化財防火活動を実施し、文化財所有者や市民の文化財愛護に関する意識の高揚を図ることができた。 ・市指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存活動事業に対し、補助金の交付や民間助成を紹介し、事業の継続や活性化を促した。 ・鴨方ひがさき踊り保存会が、長川寺境内で 337 年ぶりに踊りを公開することができた。 ・市内遺跡の開発行為に係る協議等を行い、開発事業と遺跡の保護の調整を図った。また、北平奥迫遺跡と城殿山遺跡で確認調査を行い、遺跡の内容把握に努めた。発掘調査後の未整理の遺物等の資料整理を行い、保存措置を図った。 ・分布調査、立会調査や確認調査の結果について、岡山県教育庁文化財課に周知の埋蔵文化財情報更新を適宜報告し、全県型総合型 GIS の遺跡の情報更新を図った。 ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅と市指定史跡町家跡の公開をかもがた町家管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。 ・市指定史跡の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開園した。市指定史跡内では、主屋の障子修繕を行った。 ・六条院小学校の出前講座では、古墳時代後期の横穴式石室を有する古墳の模擬調査等を昨年度に引き続き実施した。 ・資料館については、日常の維持管理と収蔵資料の整理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を行った。また、阿藤秀一郎氏作品の寄贈資料の整理作業を行った。 ・麦稈真田組み総合調査では、資料の収集を継続的に実施した。 ・町並み保全では、備中町並みネットワークと協力し、地域の情報を共有できた。
--	--

<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を保護継承していくためには日常から保存状態の把握に努め、不測の事態が生じた場合には早急に対応できるように、予算の確保が課題となる。 ・市内の重要な文化財については、関係者との協議を踏まえ指定に務める。 ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、幕末の景観を復元するために、環境整備を継続的に進める。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」は、植栽したクロマツの維持管理に取り組む。 ・市指定文化財について、修理や管理等の保存する上で必要な指導及び助言を図る必要がある。 ・市民共有の財産である貴重な文化財の保存と活用については、所有者や行政だけではなく、市民団体や地域住民と協働してその取組を推進することが必要である。 ・無形民俗文化財の継承基盤となる伝承活動の継続が、新型コロナウイルス感染症の影響と少子高齢化により困難になる等、保存と継承に深刻な影響を及ぼしている。 ・無形民俗文化財では、新型コロナウイルス感染症の影響下で規模縮小や中止となっていたが、今年度からは通常に戻り、文化財が公開された。 ・埋蔵文化財の保護については、今後増加が予想される発掘調査に対応するための効率的な事務執行ができる体制整備の構築が必要である。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市指定史跡「青佐山台場跡」は、支障枝の伐採の景観保全や表示看板設置の整備を進めることができた。 ・市指定名勝「三郎島（三ツ山）」の景観整備事業では、概ね計画通り進捗することができた。 ・市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」では、アッケシソウキバガの発生を初期段階で活用を抑止することができた。 ・上竹ホテルを守る会、浅口市寄島町アッケシソウを守る会、佐方子供吉備神楽伝承教室及び浅口歴史探訪会の文化財保護活動について、顕彰することができた。 ・今後は、これまで得られた文化財の情報を文化財講座等に活用し、市民の理解を深めるための学習機会をさらに充実させる必要がある。

＜基本事業＞芸術文化活動の振興

【担当：ひとづくり推進課】

芸術文化活動の普及と振興	事業の内容	事業概要
	各種団体及び学校との連携による芸術文化活動の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動への参加の奨励 ・自発的、積極的な文化活動の推進 ・国や県が実施する小学校・中学校向け文化芸術体験事業の周知及び取り次ぎ ・地域の芸術文化活動団体が取り組む子どもの芸術文化体験事業への支援
		<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校・中学校に対して、文化庁や岡山県主催の芸術文化関連事業の紹介を行った。令和5年度は、六条院小学校、鴨方中学校が採択された。 ・高梁川流域連盟事業として、中央公民館において高校生絵画展、フォトコンテスト展を開催した。 ・浅口市総合文化祭については、金光・鴨方・寄島の各会場において、同時開催により実施した。 ・芸術文化事業として、香道入門講座を実施した。

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。また、子どもが芸術文化活動へ触れる機会を増やすため、体験コーナーや発表の場を提供するなど芸術文化活動の入り口となるような事業強化に努める。 ・高梁川流域連盟事業の継続により、流域間における文化交流を促進する。 ・各団体の主体的な取組を支援していく。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合文化祭について、令和5年度も無事に開催することができた。芸術文化に触れる機会を確保するため、実行委員会と連携して本事業を継続的に実施するとともに、来場者の増加を目指していきたい。 ・高梁川流域連盟の事業により、機関誌発行や展示会などを通じて、流域内での浅口市の存在感を高めるとともに、文化交流を図ることができた。

＜基本事業＞文化施設の整備・充実

【担当：ひとつづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
かもがた町家公園の円滑な管理・運営	歴史公園のもつ特色を活かした公園の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による伝承館や公園周辺文化遺産の案内 ・個人や団体へのふれあいの館、交流館などの貸館事業 ・かもがた町家管理組合との協働事業 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために、「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行った。 ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高戸家住宅」）・郷土の館・交流館は、地域の歴史を学び文化を継承する場として活用した。 ・かもがた町家管理組合に、伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。
	来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家管理組合による食堂事業 ・かもがた町家管理組合による植栽や広場などの施設整備 ・親子のふれあいの場となる事業の実施 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流館西側の高圧受変電設備の塗装等によりで、公園景観の保全を図った。 ・親子のふれあいの場となる水遊び場を開設した。 ・かもがた町家管理組合に、交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。 ・公園が開園して25周年を迎えている。屋外施設について老朽化や自然災害等で破損した箇所から随時修繕を実施し、来園者の安全に努めた。 ・第70回文化財防火デーに合わせて、文化財火災防御訓練を実施した。
	地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした町家塾や琴塾の開講 ・七草や雛祭りなどの年中行事にあわせた事業 ・景観や歴史文化をテーマにした町家公園講座の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町家塾として、麦稗真田組み・お茶の点て方体験・古代体験（火起こし）・春の七草粥作り等を小学生15名と保護者を対象に年8回実施した。 ・企画展は、伝承館で節句にあわせて雛人形展、五月人形展を開催し、芝生広場で鯉のぼりを展示した。 ・年末年始は、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。

		<ul style="list-style-type: none"> ・体験事業では、とんど焼きを開催した。また、大人（おせら）向けの「折紙とむかしばなし」を4回実施した。 ・備中まち並みネットワークの事業として、「お茶の点て方体験」「投扇興体験」「琴の演奏体験」「まち歩き～鴨方往来～」を開催した。 ・まちや茶会や七草粥作り等の飲食を伴う事業を再開した。 ・開園25周年を記念した「町家☆Stories」「まちや寄席」「町家スプリングJAZZコンサート」を開催した。 ・小学校の校外学習や高等学校の地域学習の受入れを行った。
	事業の内容	事業概要
阿藤伯海記念公園の円滑な管理・運営	郷土先人である阿藤伯海の顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・阿藤伯海に関する展示品の管理 ・阿藤伯海に関する資料の作成 ・阿藤伯海記念公園管理組合による展示品や園内の説明
		取組状況
	文化交流施設として活用される施設の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・阿藤伯海先生の資料を整備し、視覚的に分かりやすい展示説明を行った。 ・阿藤伯海記念公園管理組合により、来園者に対する施設等の案内・説明が実施された。
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・個人や団体への貸館事業 ・阿藤伯海記念公園管理組合との協働事業 ・避難訓練の実施など安全管理の体制づくり
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化活動の推進及び相互交流のため、虚白室等の貸館事業を行った。 ・管理組合の協力のもと避難訓練を行い、消火器の位置の再確認や利用者の避難誘導ルート等を確認するなど安全に対する認識を深めた。 ・入口法面改良工事により、土砂の流出を防ぐことで来園者の安全を確保した。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
文化振興事業数	25事業	28事業

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園で実施する事業は、他の教育施設と比較し、歴史的な環境の中で伝統文化を体験できるという点で希少性がある。この点を町家公園のブランドイメージとして確立できるよう、今後も魅力的な事業を計画し、継続的に広報宣伝を行う。 ・かもがた町家公園では、指導員の後継者養成が急務である。指導には培われた知恵が必要となるため、現場での育成の機会を確保する。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・阿藤伯海記念公園では、管理組合の高齢化と会員減少が進んでおり、若手組合員の加入が喫緊の課題である。 ・新型コロナウイルスの終息に伴い、公園の持つ魅力について、事業を通じて発信していく必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合との連携で特色ある管理運営を行うことができた。また、地域住民が地域の歴史、文化、人々の暮らしに親しむ機会を提供することができた。 ・阿藤伯海記念公園では、蓮見茶会や論語かるた大会等の事業が中止となったが、団体客受入時における対応などを管理組合と連携して行うことができた。 ・かもがた町家公園及び阿藤伯海記念公園では、課題となっている後継者育成や若手組合員増への有効な対策がとれていない。

(参考) 資料3から抜粋

入館者数/年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
岡山天文博物館	18,836人	10,225人	8,533人	12,667人	11,916人
かもがた町家公園	31,375人	19,341人	12,232人	21,563人	23,870人
阿藤伯海記念公園	2,150人	1,534人	1,401人	1,474人	1,458人

基本方針5 グローバルな感性を育む国際交流の促進

＜基本事業＞国際交流の推進

【担当：ひとづくり推進課】

姉妹都市(豪州・ティーツリーガリー市)、 友好都市(中国・高安市)との交流	事業の内容	事業概要
	友好交流による相互理解	<ul style="list-style-type: none"> ・豪州青少年受入事業(短期・長期)の実施 ・友好訪問団受入事業の実施 ・ビデオ通話等を利用したオンライン交流事業の実施
		取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市・ティーツリーガリー市のモデブリー高校から5年ぶりに本市への訪問があり、寄島中学校と鴨方東小学校で交流事業を実施した。 ・海外派遣事業の代替として、ティーツリーガリー市へのオンラインツアーを実施し、相互理解を深めることができた。 	
交流を通しての国際理解	事業の内容	事業概要
	異文化交流による国際感覚の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生社会の実現に向けた事業の実施 ・浅口市国際交流協会による定期的な国際理解講座や国際交流フェスティバルの実施 ・浅口市国際交流協会によるアメリカ大学生等ホームステイ受入事業
		取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の在住外国人が増加傾向にあることから、多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を実施した。 ・市国際交流協会が実施する外国人等との交流事業「国際理解講座」や国際交流フェスティバル、アメリカ大学生等ホームステイ受入事業を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国人等と会話ができる機会を持てるよう支援を行った。 	

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・海外への往来が新型コロナウイルスの流行前の水準に戻りつつあることから、青少年海外派遣事業についても再開できるよう、検討を進める。 ・ビデオ通話をはじめとしたオンライン交流は、手軽に海外と交流できる手段であり、新たな交流の機会の創出が可能であるため、ティーツリーガリー市だけでなく、モデブリー高校、トレンズバレー校とも協議を進め、交流の機会を設ける。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> 市国際交流協会は、会員確保と事業内容の見直しが課題となっている。市内の在住外国人が増加傾向にあり、多文化共生社会の実現に向けた取組の重要度が増してくるものと考えられることから、国際交流協会にも、それに伴った事業内容や事業運営を促していく必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ティーツリーガリー市のモデブリー高校から5年ぶりに本市への訪問があり、対面での交流事業を実施することができた。また、海外派遣事業の代替として、オンライン交流事業を実施することができ、相互理解を深めることができた。 市内の在住外国人が増加傾向にあることから、多文化共生社会の実現に向けた事業として、外国人のための日本語講座を実施することができた。 市国際交流協会が実施する「国際理解講座」、「国際交流フェスティバル」等については、講師紹介等の支援を行い、多様な講師・テーマで実施された。

＜基本事業＞国際的に活躍できる青少年の育成

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
コミュニケーション能力の向上	意思伝達能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 中学生英語スピーチコンテストの開催 豪州青少年受入事業（短期・長期）の実施 海外派遣参加者の国際交流事業への参加促進 ビデオ通話等を利用したオンライン交流事業の実施
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> 中学生英語スピーチコンテストについては、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表の機会を設けた。 姉妹都市・ティーツリーガリー市のモデブリー高校から5年ぶりに本市への訪問があり、寄島中学校と鴨方東小学校で交流事業を実施した。 青少年海外派遣事業の代替として、ティーツリーガリー市へのオンラインツアーを実施し、コミュニケーション能力向上の機会となった。

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> 実際に英語を使う機会やコンテストなどの発表の場があることは、英語学習の意欲向上につながっていると思われる。対面だけでなく、ビ
--------	--

	<p>デオ通話をはじめとしたオンライン交流事業等の実施により、コミュニケーション能力向上の機会を確保する。</p>
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生英語スピーチコンテストについては、当初の予定どおり実施することができた。また、スピーチコンテストに合わせて、小学生の英語発表の機会を設けることができた。 ・ティーツリーガリー市のモデブリー高校から5年ぶりに本市への訪問があり、対面での交流事業を実施することができた。また、青少年海外派遣事業の代替としてオンライン交流事業を実施することができ、コミュニケーション能力向上の機会を確保することができた。

＜基本事業＞国際理解教育の推進

【担当：ひとづくり推進課】

	事業の内容	事業概要
A L Tを活かした英語活動の充実	英語に親しみやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園、こども園での英語活動の実施 ・小学生を対象とした初級英会話講座の実施 ・英会話動画の作成・公開 ・A L T同士の情報交換や共同教材の作成を目的とした定期的なミーティングの実施
		<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・こども園では、A L Tによる英語活動を行った。 ・6月からA L Tの協力を得て小学生を対象に英会話講座を月1回開催したところ、延べ約150人の参加があった。 ・時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として、A L Tによる英会話動画をインターネットで公開した。 ・A L T同士の情報交換及び意見交換を定期的に行った。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
国際交流事業参加者数	600人	678人
ALTを活用した学校以外の事業数	6事業	5事業

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話講座については、引き続き全A L Tの協力のもと、小学校での英語教育の内容も考慮しながら、コミュニケーション能力の向上や異文化理解が図られるよう、内容の充実を図る。 ・英会話動画の作成についても、時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として、引き続きA L Tの協力のもと作成を進める。
--------	---

自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none">・ 幼児期から英語に慣れ親しむ環境があり、英語に対する興味・関心が高まっている。・ 英会話講座は、子ども達の実践的なコミュニケーション能力の向上や異文化理解に繋がっている。・ 英会話動画は、時間や場所を問わず英会話学習ができる手段として提供することができた。
------	---

基本方針6 だれもが活躍できる社会の実現

<基本事業> 人権啓発、人権教育の推進【担当：ひとづくり推進課】

人権教育の推進	事業の内容	事業概要
	人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的人権が尊重される社会の実現を目指した研修活動等の実施 ・ 市民課、地域創造課等の人権啓発担当課との連携強化
		取組状況
	学校教育、社会教育と連携した人権教育の総合的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育推進協議会総会を開催し、人権教育に関わる令和4年度の事業報告並びに令和5年度の事業計画について審議した。 ・ 人権教育指導者養成講座を年5回実施した。
取組状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・こども園・小学校・中学校におけるPTA人権教育の推進 ・ 市立幼稚園・こども園・保育園において、保護者を対象に、ワークショップ形式のPTA人権教育研修会を実施した。 ・ 市立小学校・中学校において、講演会形式でのPTA人権教育研修会を実施した。 		
人権啓発・教育の指導者リーダーの養成	事業の内容	事業概要
	学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者・リーダーの養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、家庭、地域、職場などにおける人権啓発・教育のリーダーの養成 ・ 人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育指導者養成講座を実施した。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
人権教育指導者養成講座数	5回以上	5回

<p>課題・方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成講座について、その時代・時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の修了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営や全ての市民の人権が尊重される社会の実現のために、内容や方法を工夫する必要がある。 ・小学校・中学校のPTA人権教育研修会では、参加率を高めるために、研修内容・日程等工夫が必要である。
<p>自己評価</p>	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進協議会総会での計画に沿って、人権教育を推進することができた。 ・それぞれの活動及び研修において、正しい理解や人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。

基本方針7 安心して産み育てることができる子育て支援の充実

<基本事業> 出産・育児・保育サポートの充実

【担当：保育未来課】

子育て環境の整備・充実	事業の内容	事業概要
		<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て支援事業計画の推進 ・幼児教育アドバイザー及び特別支援アドバイザーによる園訪問と保育に関する指導・助言の実施 ・園小接続カリキュラムに基づく円滑な小学校への移行推進 ・公立園における計画的な施設整備と私立園に対する施設整備補助 ・園長会等を通じた各園の連携体制の強化 ・鴨方東幼稚園・鴨方西幼稚園3歳児教育開始(全幼稚園実施) ・子ども・子育て支援法に基づく、特定教育・保育施設等に対する指導監査の実施 ・保育支援者配置に対する私立園への補助 ・低年齢児受入れ促進のための私立園への補助 ・国県の補助事業を活用した私立園に対する運営支援 ・公立園のICT化の推進
	質の高い保育提供体制の確保	<p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議を2回開催し、第3期子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について意見聴取などを行った。また現計画の令和5年度の重点事業等の報告を行った。 ・発達支援研修や発達支援アドバイザーによる巡回訪問などを行い、保育支援の助言等を行い、若手職員等の保育の質の向上に努めた。 ・公立・私立園長連絡会を1回開催し、各園の窓口となる特別支援コーディネーターの位置づけを行う働きかけを行うなど特別支援教育についての取り組みの推進を図った。 また、私立園に対し、保留児童等の状況や保育士等人材確保に向けた取り組みなどの諸課題についての協議を行った。 ・保育の周辺業務（清掃や配膳、後片付け等）を行う保育士資格を有しない保育支援者を雇用し、保育士等の業務負担軽減や職場環境改善に取り組む5園に対し、補助事業を実施した。 ・保育所・幼稚園・こども園において、外国語指導助手（ALT）による英語活動や運動遊び、リトミック、など感染症対

		<p>策を講じながら、各園特色をもった事業の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨方東幼稚園及び鴨方西幼稚園で3歳児からの教育を開始し、市立幼稚園全園で3年保育を開始した。 ・施設的环境改善として、鴨方東幼稚園・金光幼稚園の通用門修繕や六条院こども園照明器具LED化等工事实施設計等を行った。 ・井笠管内広域入所連携により、低年齢児の保育の受け皿が拡充された。 ・登校園管理システムを導入し、保育士等の業務負担の軽減や子ども安全確認の強化を図った。 ・物価高騰等の影響を受けている私立園に対し、安定的な保育を提供できるよう補助金を交付した。
	<p>保育士等人材の確保・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立園と連携した園職員の資質向上のための各種研修会の実施 ・保育士等の人材確保のための就職相談会の実施 ・保育士等の雇用促進・人材確保に取り組む私立園への補助 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園職員の資質向上のための公開保育研修（公立全5園）、特別支援研修、食物アレルギー研修、若手・中堅職員研修や外部講師による体育指導研修等を実施した。また、高梁川流域自治体連携事業により、倉敷市保育士・保育所支援センターの協力で実技研修（劇あそび）を行い、公・私立園延べ185人が研修に参加した。 ・保育等の人材確保のため、保育士等への就職を希望する方のための就職相談会を2回開催し、そのうち2名が市内園への就職に繋がった（市内保育所・こども園全園参加）。 ・保育士等の雇用促進や人材確保のための補助金を私立園7園が活用した。 ・保育士等の市内私立園への就職を支援するため、10月から就職した保育士等に対し、就職支援金を給付した。
	<p>子育て支援サポートの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援情報の周知・充実（ホームページ、メール配信サービス、子育て通信、子育てガイドブックなど） ・子育てコンシェルジュによる利用者支援事業の推進 ・第3子以降児童の保育料及び給食費補助事業無償化事業 ・病気の回復期に至らない児童を保育する「病児保育事業」の県内施設の広域利用の推進 ・おむつの交換などができる施設に「赤ちゃんの駅」への登録を促し、安心して外出できる環境の整備を推進 ・生活保護世帯等の利用者負担軽減を図る実費徴収に係る補足給付事業 ・無償化対象施設等の利用料給付事業 <p style="text-align: center;">取組状況</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報冊子として、利用者支援事業を活用し、子育てガイドブックや子育て応援ガイド（概要版）を作成した。 ・平成29年4月1日から「岡山県病児保育事業実施施設の相互利用に関する協定」を締結し、現在、岡山下11市7町17施設の病児保育施設の広域利用が可能となっている。 ・子育てコンシェルジュを配置し、子育てに関する相談対応や情報提供等を行った。 ・国の無償化制度を拡充し、第3子以降の対象者の拡大や主食費を含む給食費補助を行い、多子世帯への保育料等負担軽減を行った。 ・令和5年度からの給食費値上げ分について、国の交付金を活用し公費負担を行い、保護者の負担軽減を図った。 ・一時預かり事業や認可外施設等子育て支援施設等利用料の無償化として97人に対して給付を行った。（R5年12月末現在） ・認可保育所等への入所保留者に対し、認可外保育施設等を利用する場合の利用料補助を行い、保護者の負担軽減を図った。
	<p>多様な保育需要に応じた保育園・こども園における保育サービスの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児及び在園児（1号認定児）を対象とした「一時預かり事業」の実施 ・日曜・祝日等における「休日保育」の実施 ・園児が病気の回復期であり、集団保育が困難な期間において保育する「病後児保育事業」の実施 ・保護者の多様化する就労形態に対応した「延長保育事業」の実施 ・障害児の処遇向上を図るための「障害児保育事業」の実施 <p style="text-align: center;">取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立こども園1園、私立こども園1園で、一時預かり事業（一般型）を実施した。 ・公立幼稚園3園、公立こども園2園、私立こども園1園で、一時預かり事業（幼稚園型）を実施した。 ・私立保育所1園で休日保育事業を実施した。（4月～8月） ・私立保育所1園で病後児保育事業を実施した。 ・市内全保育所・こども園及び小規模保育事業所1カ所において、通常保育時間の前後に延長保育事業を実施した。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
公立・私立園長会の実施回数	1回	1回
園職員研修(市主催)の実施回数	5回	9回
保育士等の就職相談会の実施回数	2回(継続実施)	2回(継続実施)
障害児保育事業実施施設数	6施設	4施設
保育の確保量	763人	783人

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期浅口市子ども・子育て支援事業計画の着実な推進に向けて、子ども・子育て会議において施策の点検・評価を行い、必要に応じて課題の検討と施策の改善を行うとともに、令和7年度からの第3期画策定に向けて、子育て世帯のニーズを踏まえ、就学前の教育・保育の提供体制の整備や子育て支援事業の確保方策など検討していく。 ・幼稚園全園で3年保育を開始し、保護者の利用ニーズに応じた預かり保育を実施し、幼稚園への利用促進や幼稚園教育の充実を図る。 ・質の高い教育・保育を提供するため、引き続き各公立園で特色のある事業を実施していく。 ・保育士等のための就職相談会を開催し、引き続き私立園と連携・協力し、保育人材確保ための取り組みや支援を行う。 ・保育ニーズの高い0～2歳児の保育の受け皿拡充として、令和5年度4月から井笠管内における広域入所連携による受入施設の拡充や私立園の定員の増加、既存施設の弾力化により可能な限り児童の受入枠の確保に努めている。また、直接的な保育士確保に繋がる保育士等に対する支援金の給付等保育人材の確保方策にも力を入れてきた。しかしながら、入園申込数の増加や保育士等の人材不足などにより、希望園に入所が困難な保留児童が増加傾向となっており、より効果的な対策を引き続き検討していく必要がある。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅口市子ども・子育て支援事業計画の計画どおり進められた。 ・幼稚園全園で3年保育開始など質の高い保育提供を行うことができた。 ・今年度、保育士等人材不足の影響等により待機児童の発生があった。幼児期の教育・保育の利用ニーズは、今後も増加が見込まれる。保育を必要とする子育て家庭が安心して利用できるよう待機児童の解消に向けての受け皿の確保、保育士等の人材確保などの方策を引き続き実施していく。 ・ホームページやメール配信等を通じて、子育て支援情報の発信や各園の特色ある取組など積極的に周知を図っていくことが今後も必要である。

<基本事業>放課後児童健全育成事業の充実 【担当：保育未来課】

放課後児童ク	事業の内容	事業概要
	保護者の就労等による放課後や長期休業日等の児童の	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨方東小学校児童クラブ新築施設利用開始 ・放課後児童クラブの設備改修・環境整備 ・放課後児童クラブの円滑な運営支援

ラ ブ の 充 実	安全・安心な居場所の提供と健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新・放課後子ども総合プランに基づく放課後子ども教室との一体型の推進 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上のための研修会 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・金光小学校児童クラブについて、施設的环境衛生改善のため、トイレ洋式化等の工事を行った。 ・鴨方東小学校児童クラブについて、高学年までの利用ニーズに対応するため、小学校敷地内に整備した新たな施設で利用を開始した。 ・金光竹小学校児童クラブ及び鴨方西小学校児童クラブで、長期休業期間のみ対象小学区外の児童の受け入れを行った。 ・市内小学校で、延べ11回放課後子ども教室を実施し、各小学校の放課後児童クラブの児童も参加した。 ・放課後児童クラブ支援員の資質向上を図るための研修会として、備中子どもサポーター育成講座をオンラインで実施した。 ・放課後児童クラブ支援員の人材確保支援として、児童クラブの職員募集について、市のホームページへの掲載や募集チラシの全戸配布の支援を行った。 ・物価高騰等の影響を受けているクラブに対し、安定的な保育を提供できるよう支援金を交付した。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
放課後児童クラブ支援員研修会の実施回数	4回	0回
放課後児童クラブの確保量	599人	599人

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブでは育成支援に従事する放課後児童支援員等の職員確保に苦慮している。職員の確保について、児童クラブと協力し、引き続き積極的に求人募集の支援をしていくとともに、国の補助金を活用した放課後児童支援員の処遇改善に取り組む。 ・金光小学校児童クラブ及び六条院小学校児童クラブについて、利用希望者が増加傾向のため、更なる受け皿対策（利用定員や施設の拡大・支援員確保等）の検討が必要である。 ・放課後児童クラブでの発達障害児等、支援の必要な子どもの利用も多い。関係機関と連携し、個別の対応や状況に応じた支援体制を整えていく必要がある。 ・放課後子ども教室との校内交流一体型の推進を図るため、引き続き放課後児童クラブと放課後子ども教室が連携して事業を実施する。
--------	--

自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の受入ができなかった放課後児童クラブがあった。 ・放課後児童クラブに対し、補助単価の見直し等を行い、適正な運営費の支援を行うことができた。 ・放課後児童クラブ施設内の設備の充実や環境整備・施設整備を計画的に進めていくことができた。 ・放課後児童クラブの施設及び運営に関する基準に基づき、適切な運営指導を行うとともに、引き続き職員の資質向上を行う。
------	--

<基本事業>遊び・交流の場の整備・充実 【担当：保育未来課】

	事業の内容	事業概要
遊び・交流の場の整備・充実	子どもを育む体験の場と交流の場の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室等、子どもが様々な活動を経験し、地域の人々と交流できる場の充実 ・戸外活動が困難な時期の子どもの遊び場（ひんやりルーム）の利用促進 ・地域子育て支援拠点事業（私立園）の実施
		取組状況
		<ul style="list-style-type: none"> ・各公民館における週末の体験活動として、地域のボランティアの方々を講師とし、14講座の教室を開催した。 ・一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を小学校で8回実施した。ボランティアの方を講師に迎え、様々な工作活動や体験活動を実施した。 ・戸外活動が困難な夏休み期間に天草体育館内に「ひんやりルーム」を設置し、親子の居場所を提供した。 ・未就園の乳幼児と保護者を対象として、園庭開放や図書館、つどいの広場などの定期的なイベント情報の発信を行った。

指標	目標(令和5年度)	実績(令和5年度)
ひんやりルーム(夏休み期間の遊び場)利用者数	200人	149人
放課後子ども教室の実施回数(再掲)	20回	11回

課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の子育て情報コーナーやホームページ、子育て通信などを通じて、未就園児と親子の居場所の情報発信を積極的に行っていく。 ・ひんやりルームの認知度を高めるための周知として、小学校や園へのチラシ配布などを継続して行う。
--------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室の内容を更に充実させ、子ども達が様々な体験や活動を通して、健やかに成長できるように引き続き支援を行う。
自己評価	<p>自己評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ、放課後子供教室を小学校内で実施するとともに、学校、地域人材と連携した取組を行うことができた。今後も継続し、より一層充実した取組を進めていきたい。 ・特に夏休み期間など、戸外での活動が困難な時期に、子どもたちが安心して遊び、交流できる居場所として、天草公園体育館を開放した。引き続き、「ひんやりルーム」として多くの方に周知を行い、利用促進を図っていく。

IV 浅口市教育委員会評価委員の総合評価（令和5年度事業分）

評価委員 浦上 博文

1. 目標・組織・会議等

教育委員会は、「令和5年度教育行政の基本方針」に基づき、教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び基本方針に掲げた基本事業について、点検・評価活動を適切に実施している。

教育委員会は、毎月1回の定例会のほか臨時会を開催し、現在の教育に関する多様な事項に対応した。市内公立16校園・放課後児童クラブ1クラブを訪問し、授業参観や校園長との懇談等を通して教育現場の実態把握や意見聴取に努めた。学校の新たな形である「義務教育学校」に関する研究を行い、寄島学園開校に向け道筋をつけた。

2. 学校教育課

評価指標Aの事業が「心の教育の推進」であり、評価指標Bの事業が「確かな学力向上の推進」・「体育・健康教育の充実」・「デジタル社会に対応した教育の充実」である。いずれも適切な評価である。

部活動指導員配置事業の活用や保護者連絡アプリの導入などにより教職員の負担軽減を行ったこと、不登校児童生徒が増加する中、鴨方中学校に続いて金光中学校にも自立応援室を設けて細やかな支援を進めたこと、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置し教育相談の充実を図ったこと、栄養教諭が学校に赴き食育指導に計画的に取り組んだこと、日々の授業でタブレット端末を活用する場面が増え、家庭への持ち帰りも日常化し端末活用が進んでいることなどは高く評価できる。

引き続き、教職員の働き方改革を推進すること、不登校傾向の児童生徒に対するきめ細かな対処・支援を行うことを希望する。

3. 教育総務課

「学校施設の整備・充実」の事業が評価指標Bであり、適切な評価である。

財政状況が厳しい中、子どもたちの安全・安心を最優先として、緊急性を要する案件から施設整備及び修繕に取り組んだこと、各学校・園が必要とする補修・改修に計画的に取り組み、突発的な修繕等についても臨機応変に取り組んだことは高く評価できる。

更新の時期を迎えつつある施設が多くなっており、中長期的な計画のもと施設整備・充実を進めるよう希望する。

4. ひとづくり推進課

評価指標Aの事業が「生涯学習の充実」・「青少年健全育成団体の活動支援」・「歴史・文化的資源の保全・活用」であり、評価指標Bの事業が「社会教育施設の整備・充実」・「スポーツ推進計画の推進」・「各種スポーツ団体の育成・支援」・「スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実」・「コロナ禍により変化した社会における運動機会の確保」・「芸術文化活動の振興」・「文化施設の整備・充実」・「国際交流の推進」・「国際的に活躍できる青少年の育成」・「国際理解教育の推進」・「人権啓発、人権教育の推進」である。いずれも適切な評価である。

「第2回浅口市中高生だっぴ」・ボランティア育成講座・ドローン関連講座・スマホ教室のほか、冬GAKUミニサプリを新たに実施するなど、時代に即した生涯学習・社会教育を推進したこと、学校や警察署と連携しきめ細かな青少年育成センター業務を行ったこと、市指定史跡・市指定名勝の景観整備を進め、市指定天然記念物「アッケシソウ自生地」の保護活動を行い、文化財保護活動に取り組んだこと、モデブリー高校からの5年ぶりの訪問があり対面での交流事業を実施したことなどは高く評価できる。

引き続き、かもがた町家公園・阿藤伯海記念公園は、後継者育成と組合員増を図りながらさらに事業を推進するよう希望する。また、岡山天文博物館は、天文台のあるまちとしての特色を活かした積極的な事業展開を行うよう希望する。

5. 保育未来課

評価指標Bの事業が「出産・育児・保育サポートの充実」・「放課後児童健全育成事業の充実」・「遊び・交流の場の整備・充実」である。いずれも適切な評価である。

市内幼稚園全園で3年保育を開始し幼稚園への利用促進を図ったこと、市内私立園への就職を支援するため就職支援金の給付を開始したこと、天草公園体育館内に「ひんやりルーム」を設けたことなどは高く評価できる。

引き続き、保育の利用ニーズが増加する中、待機児童の解消に向けて受け皿と保育人材の確保に努力すること、利用希望者が増加している放課後児童クラブに支援・指導を行い放課後児童健全育成に努めるよう希望する。

6. 総合評価

浅口市の教育目標と7つの教育行政の基本方針に基づき、新たな時代のニーズに対応する各事業を適切に計画及び執行し、概ね良好な成果を上げている。さらに、それらを適切に点検・評価し、今後に向けた課題・方向性も示されている。教育の向上のため、更なる取り組みを期待する。

1. 目標・組織・会議等

浅口市の次世代を担う子どもたちの健全な育成を目指した教育目標である。各組織が7つの基本方針に基づいた事業を工夫しながら展開されたことは十分評価できる。学校園を訪問し、現場の教育内容や施設設備の実態等を把握したことは定例会議の充実につながったと思われる。また、総合教育会議で市長と現状確認や協議、意見交換をし、共通理解を図ることができたことは大きな成果であると思う。

2. 学校教育課

子ども一人一人がきらり輝くことを目指した事業が展開されている。教師の働き方改革の推進として行った取り組み（教師業務アシスタントや学級アシスタントの配置、校務支援ソフト活用など）は十分評価できる。この取り組みが教師の授業研究や子どもたちの心に寄り添う時間の確保につながり、学校生活を楽しいと感じる子どもが増加することを願う。

3. 教育総務課

寄島学園開校に向けた施設整備は早急に行わなければならない。しかし、厳しい財政状況であろうとも、子どもたちの安全な生活を守るための修繕は必要である。ぜひ予算化に努めていただきたい。

4. ひとつづくり推進課

広い年齢層の市民を対象とした事業を工夫しながら行うことができている。特に岡山天文学博物館が行ったイベントは好評で毎回参加者が満員というよい結果を得ている。浅口市の歴史ある文化施設や公的施設に対する市民の関心を高めることも教育目標につながると思われる。今後も引き続き広報活動を充実させ、市民にとって魅力ある事業を計画していただきたい。

5. 保育未来課

一時預かり、休日保育、病後児保育等の事業を行ったことは保護者のニーズに沿った事業だと評価できる。また、質の高い保育実践に向け職員研修を充実させたことも保護者の安心感につながっていると思われる。放課後児童クラブの利用者は多く、利用する児童の実態も様々であるため、指導員研修は必要不可欠である。オンラインでの研修を実施できたことは評価できる。今後も職員の資質向上にむけた研修を充実させながら、希望する施設への入所がかなえられるよう、人材や施設の確保に努めてほしい。

6. 総合評価

各課とも教育行政の基本方針に基づいた事業を創意工夫しながら行い、課題や方向性を明確にした自己評価ができている。次年度も各課の連携を図りながら、より良い事業が展開できるよう自己評価を生かしていただきたい。

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育の基本方針を具現化するために各種の基本事業が策定され、執行と点検そして次年度への反映というサイクルが多年度にわたって続けられてきたのがよくわかった。基本事業の内容は、人としての一生を網羅して支援することを大切にされた内容であり、評価できる。評価方法については、実績の数値化が多く、点で実現できており、客観的に判断できるので高評価とする。

また、各組織の執行やその状況から、全組織の足並みがそろい有機的な連携が行われていると考え、組織の潤滑な運営がなされていると判断した。これについても高評価とする。

ただし、基本方針2～6までの多岐にわたる内容が「ひとづくり推進課」に集中しているように思えるのは、どう判断してよいか迷うところである。総合教育会議の位置づけについても、今後の課題としたい。

2. 学校教育課

確かな学力向上の推進の取り組みの中で、小中一貫教育の推進を年次的かつ計画的に進めている点は、評価できる。

社会に開かれた学校づくりについて、小中一貫校としての取り組みは一般に定着するには時間差があるので、経過をみたいが評価できる。「学校が開かれている」という感覚は、地域の人々にもかなり浸透しているので、今後も時代のニーズと照らし合わせながら、進めていくことを望む。

教職員の働き方改革では、浅口市独自の取り組みがなされていた。部活動指導員配置事業や学校用グループウェア、校務支援ソフト、保護者連絡アプリの導入などがなされ、高評価とする。しかし、全国的な傾向を見ても、現場の負担軽減は十分でなく今や教職員という仕事は、ブラックな職業とみなされている。現場の実態を一層確実に把握する方法や新たな改革の施策を望む。

3. 教育総務課

限られた予算の中で児童生徒の安全を優先しながら、施設整備及び修繕が行われたことを評価する。また、浅口市内の施設においても、他市同様経年劣化など老化が多い中で学校施設長寿命化計画を視野に入れての方向性の策定は、高く評価される。

施設の現状認識について、専門知識を持つ職員と現場の職員との共同の作業をより多く取り入れることで、児童生徒の安全優先の姿勢が一層確実にになると考える。

4. ひとづくり推進課

ひとづくりとは人間づくりに外ならない。その事業の内容は、実に多岐にわたっていることに驚く。

生涯学習の充実においては、「人の一生は学びの連続である」の言葉のような事業が展開されている。高齢者への働きかけはもちろんだが、学齢期や社会で働く人々への働きかけ、地域にスポットをあてた人おこしなどを包括的に行っている。その先には、数十年先の地域の豊かさを見据えた姿があると思った。高評価とする。

公民館での各種講座実施や図書館利用、各種スポーツ団体の支援と利用の状況が数値化されている。また、各種施設の改修や歴史的遺産の保全活動など我々のよりよい生活を確

保できる基盤づくりを行っていることもわかる。高評価とするが、多くの項目で自己評価 Bとなっている。すべきことが多岐にわたるため、目標達成まで至らないのかもしれない。

5. 保育未来課

浅口市は、働く世代の流入が多い状態が続いている。特に国道や駅周辺の住宅地の増加が著しい。人口増加は望むところであるが、そのための市の事業の充実は欠かせない。働く世代のための放課後児童クラブの拡充は近々の課題だ。事業内容から、それぞれの児童クラブの施設の拡充が行われているのがわかる。また、支援員の人材確保への取り組みも行われている。しかし、利用希望者の増加のために、受け入れができなかった児童クラブがあったことも報告された。補助単価の見直しも行われ、改善傾向ではあるが、早急な課題解決が望まれる。評価は高いが、今後への課題も大きい。

同じく、働く世代への支援として、保育園の拡充が望まれる。多様な保育需要に応じた園の取り組みが実施された。一時預かり事業や休日保育事業、病後児保育事業などがそれにあたる。延長保育事業は、多くの保育所・園・事業所で実施された。それでも、待機児童が発生した。取り組み自体は、高評価とする。待機児童が発生した原因が、保育士不足であったので、令和6年度の保育士採用の実績が望まれる。

6. 総合評価

浅口市の教育方針の取り組みは、7つの方針に従って充実した内容となっていた。また、取り組みの状況を自己評価し次年度に生かしていくなど、継続的な活動を行っており、浅口市の目指す人づくりの具現化が明確になったように思う。今後の取り組みを一層期待する。

【資料1】 令和5年度 園児・児童・生徒数（令和5年5月1日現在）

種別	学校名	区分	1年 (0歳児)	2年 (1歳児)	3年 (2歳児)	4年 (3歳児)	5年 (4歳児)	6年 (5歳児)	計
保育園	竜 南	園児数	1	10	8	7	9	4	39
		学級数		1	1	1		1	4
	合計	園児数	1	10	8	7	9	4	39
		学級数		1	1	1		1	
こども園	六 条 院	園児数	-	-	-	20	35	47	102
		学級数	-	-	-	2	2	2	6
	寄 島	園児数	5	12	18	16	17	14	82
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	合計	園児数	5	12	36	52	61	184	184
		学級数	1	1	1	3	3	3	12
幼稚園	金 光	園児数	-	-	-	13	21	17	51
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 東	園児数	-	-	-	11	5	11	27
		学級数	-	-	-	1	1	1	3
	鴨 方 西	園児数	-	-	-	6	4	6	16
		学級数	-	-	-	1		1	2
	合計	園児数	-	-	-	30	30	34	94
		学級数	-	-	-	3	2	3	8
小学校	金 光 竹	児童数	10	9	8	5	7	4	43
		学級数	1	1	1		1		4
	金 光	児童数	61	72	58	62	64	67	384
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	金 光 吉 備	児童数	29	27	21	24	28	24	153
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	鴨 方 東	児童数	38	58	48	42	54	59	299
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	鴨 方 西	児童数	19	13	20	10	22	24	108
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	六 条 院	児童数	35	48	52	43	63	53	294
		学級数	2	2	2	2	2	2	12
	寄 島	児童数	18	13	25	25	24	27	132
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
合計	児童数	210	240	232	211	262	258	1,413	
	学級数	10	10	10	9	10	9	58	
中学校	金 光	生徒数	88	99	86	-	-	-	273
		学級数	3	3	3	-	-	-	9
	鴨 方	生徒数	150	136	134	-	-	-	420
		学級数	4	4	4	-	-	-	12
	寄 島	生徒数	22	23	28	-	-	-	73
		学級数	1	1	1	-	-	-	3
合計	生徒数	260	258	248	-	-	-	766	
	学級数	8	8	7	-	-	-	24	

【資料2】 令和5年度 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校及び教職員の研修一覧

1 市研究指定校について

	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	発表会等期日
1	令和4～ 令和5年度	小教研浅口支会指定	算数科	鴨方西小学校	小教研 浅口支会	R5.11.10
2	令和5～ 令和6年度	中教研浅口支会指定	主体的・対話 的で深い学 びの充実 ～自ら学び表 現する活動を通 して～学 級経営	金光中学校	中教研 浅口支会	R6.11.8 予定

2 教職員研修

	研修名	対象校	対象者	希望・悉皆別	開催日	日数	備考
1	令和5年度合 同若手教員研 修会	小学校・中学校	初任者教員	悉 皆	R5.8.4	1	市・井原市・里 庄町・矢掛町・ 早島町
2	園小接続研修 会	保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校	各校園の代 表者	—	R5.8.1 R5.11.15 R6.1.12	1	延べ77人 (私立園含む)
3	令和5年度合 同中堅教員研 修会	小学校・中学校	中堅教員等	希望者	R5.8.4	1	市・笠岡市・井 原市・里庄町・ 矢掛町・早島町
4	公開保育研修	保育園・幼稚 園・こども園・ 小学校	各校園の職 員	希望者	R5.6.27 R5.7.11 R5.10.12 R5.10.30 R5.11.9	各 1	延べ44人 (私立園含む)
5	保育補助者研 修	保育園・幼稚 園・こども園	各園の職員 (生活支援 員)	悉皆	R5.8.17	1	27人 (私立園含む)

6	特別支援教育 支援員研修	市内小中学校	各校の職員 (生活支援 員等)	希望者	R5. 6. 29	1	28人
7	食物アレルギー 研修	保育園・幼稚 園・こども園	各校園の職 員	希望者	R5. 7. 19 R5. 8. 2	2	27人 (私立園含む)
8	若手職員研修	保育園・こども 園	各園の採用 5年目まで の職員	希望者	R5. 6. 20 R5. 11. 17 R6. 1. 26	3	延べ12人
9	体育指導研修	保育園・幼稚 園・こども園	各校園の職 員	希望者	R5. 7. 20	1	8人 (私立園含む)
10	幼保小架け橋 プログラム研 修	保育園・幼稚 園・こども園	園長 副園長 主任	悉皆	R5. 11. 15	1	24人 (私立園含む)
11	特別支援研修	保育園・幼稚 園・こども園	各園の職員	希望者	R5. 6. 30 R5. 8. 3 R5. 10. 16 R6. 1. 15	4	延べ42人 (私立園含む)
12	実技研修 (劇あそび)	保育園・幼稚 園・こども園	各園の職員 (里庄町含)	希望者	R4. 5. 24	1	10人 (私立園含む)
13	中堅職員研修	保育園・幼稚 園・こども園	概ね経験年 数10~15年 目程度の職 員	希望者	R5. 6. 28 R5. 8. 22	2	延べ10人 (私立園含む)

【資料3】 令和5年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

◇令和5年4月1日～令和6年3月31日

所管課・室	施設名	利用者数	備考
ひとづくり推進課	中央公民館	36,183人	
	鴨方図書館	19,804人	蔵書数 142,898冊
	天草公園	71,026人	
	ふるさとかもがたプラザ	27,438人	
	鴨方B&G海洋センター	9,736人	6月～9月まで開館
	岡山天文博物館	11,916人	
	かもがた町家公園	23,870人	伝承館:1,008人
	阿藤伯海記念公園	1,458人	
金光分室	金光公民館	22,176人	
	金光さつき図書館	10,086人	蔵書数 59,822冊
	遙照山総合公園	5,634人	
	金光駅西公園	13,540人	
	金光スポーツ公園	16,226人	
寄島分室	ふれあい交流館サンパレア	23,127人	
	寄島公民館	3,708人	
	寄島東公民館	5,874人	
	寄島図書館	4,978人	蔵書数 28,497冊
	寄島東体育館	8,917人	
	寄島武道館	5,292人	
	寄島B&G海洋センター	9,258人	
	寄島運動場	4,134人	
	寄島テニスコート	3,247人	
	三ツ山スポーツ公園	44,164人	
	フットサル場	11,909人	

【資料4】 令和5年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【ひとつづくり推進課及び分室】

事業名	期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等	
生涯学習推進事業	漢字検定	年3回	一般	日本漢字能力検定協会準会場	6/24 30人 10/28 36人 1/20 44人 金光公民館にて実施
	英語検定	年1回	主に小・中学生	日本英語検定協会準会場	1/20 59人 中央公民館にて実施
	老人大学（金光地区） 天草学級（鴨方地区） シーサイド大学（寄島地区）	年9回程度	概ね65歳以上の市民	趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど	金光31人、鴨方58人、寄島78人 各公民館9回程度のバラエティに富んだ講座を開催
	小学生ドローン体験教室	年7回	小学生	ドローンの操作体験会及び基礎知識講座	市内6校 延べ35人
	ドローン無料体験会in浅口	10月	小学生～一般	ドローンの操作体験会	市内外 延べ100人
	プログラミング教室	3回	小学3～6年生	プログラミングの体験。アクションゲーム、シューティングゲームを作成する。	市内 7/8 14人 12/16 13人 3/16 14人
	ボランティア育成講座	1学期 6回 2学期 8回 3学期 6回	中学生、高校生	ボランティア活動を通じた学び場事業	受講生：1学期34人 2学期18人 3学期20人 ボランティア活動を通じて、参加者の能力向上及びボランティア人材の育成を目的とした講座
家庭教育関係事業	親育ち応援学習プログラム	年6回	保護者	参加者同士がプログラムを進める中で、自分自身の問題に気付き、保護者としてのあり方や役割について考え、整理するきっかけ作りの場の提供	学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内6校 延べ213人

青少年育成事業	中高生だっぴ	1回	中学生 高校生 一般	地域の中高生と大人の語り場	8/10 中高生13人、大人10人
	二十歳の集い	年1回	H15.4.2 ~ H16.4.1 生まれ	式典 記念写真	1/7実施 金光80人、鴨方126人、寄島25人参加
	浅口市青少年育成活動協議会研修会	年1回	教職員 PTA 警察 協議会委員 指導員 等	親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修	・3/9実施 ・参加者数 86人 詩吟披露、明るい家庭づくり作文優秀作品発表、講演会
	街頭キャンペーン	7月・11月	一般	青少年健全育成啓発活動	7/11, 11/8 J R鴨方駅・J R金光駅周辺で実施
	子ども週末体験活動	年間週末	園児、小・中学生	体験活動	ウィークエンドわくどき体験 中央公民館 7講座 計104人 ※文化庁補助 299千円 金光さつきっ子教室 金光公民館 4講座 計49人 ※文化庁補助 0円 三つ山っ子教室 寄島公民館 2講座 計24人 ※ 国 文化庁補助 180千円
	夏GAKUサブリ	7月 3公民館 (寄島は寄島小学校)	小・中学生	学習講座	中央公民館 30教室 延べ488人参加 金光公民館 15教室 延べ245人参加 寄島小学校 7教室 延べ240人参加
	冬 GAKU ミニサブリ	12月	小・中学生	学習講座	中央公民館 10教室 延べ128人参加 金光公民館 6教室 延べ 83人参加 寄島小学校 4教室 延べ 80人参加
	少年少女合唱団 ひまわり	年間	小学生	月2回	団員10人 毎月第1・3土曜日 10:00~11:30 ひまわりコンサート開催 (3月)
	浅口市青少年育成指導員連絡協議会	年間	指導員	定例補導・特別補導・列車補導	定例補導：年59回 特別補導：年 9回 列車補導：年18回
人権教育推進事業	人権教育指導者養成講座	年5回	受講 申込者	講義	参加者309人 7・8・9・11・12月の5回実施 人権問題の正しい知識と理解等について学習した
	PTA人権教育研修会	小・中学校各1回	PTA会員	講演会	市内7小学校、3中学校においてPTA対象に実施

	保育園・幼稚園・こども園PTA 人権教育研修会	各園各1回	PTA会員	ワークショップ	195人 8回開催 10月竜南、11月鴨方西・寄島、1月金光(2回)・ 六条院(2回)・鴨方東
地域学校協働活動推進事業	学校支援ボランティア	年間	園、小・中学校	学校からの要請に応じて支援者の派遣	各学校からの要請に応じて学校支援ボランティアが活動
	放課後子ども教室	年間	小学生	体験活動	市内7小学校で12回開催 約80人参加
スポーツ振興事業	総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	通年	一般		NPO法人あさくちスポーツクラブの活動を支援
	スポーツ少年団育成支援事業	通年	スポーツ少年団	4月 入団式 12月 スポーツテスト交流大会	入団式及びスポーツテスト交流大会を通じて、団員及び指導者相互の親睦を図る。
	市民体育祭	5・9・10月	一般	旧町毎に実施	金光 5/28開催 1,000人参加 鴨方 9/24開催 600人参加 寄島 10/15開催 800人参加
	浅口市マラソン大会	12月 1回	一般		12/10 完走者892人
	ナイターソフトボール大会	5・6月	一般		5/6～25 6チーム約90人
	リレーソフトボール大会	7月 1回	一般		7/2 参加チームのリレーにより長時間の試合を行う(今年度は23回まで実施)
	体力テスト交歓大会	12月 1回	スポーツ少年団員		
	ニューススポーツ体験教室	12月 2回	小学生	ニューススポーツの体験教室	12/26 11人 12/27 14人
	ナイターペタンク大会	7月 1回	一般	ペタンク	7/8 44チーム91人
	フットサル大会	5・11月	一般	フットサルのリーグ戦	春大会 10チーム 計92人 秋大会 9チーム 計71人

図 書 館	こどもの読書週間	年1回	幼児・児童	こどもの読書週間企画	<p>【金光さつき】 4/22 みんなのおはなし会 子ども9人、大人5人 4/11～5/30 本のおたのしみ袋 27袋</p> <p>【鴨方】 4/1～5/30 かくれん本(タイトルを隠して貸出し) 250冊</p> <p>【寄島】 4/23～5/30本のおたのしみ袋 43袋</p>
	読書週間	年1回	すべて	秋の読書週間企画	<p>【三館合同企画】 10/1～11/29 シールラリー (シール15枚を集めて景品と交換) 景品交換：金光さつき、鴨方、寄島</p> <p>【金光さつき】10/1～11/29 「本にまつわる本」 をテーマに展示・貸出</p> <p>【鴨方】 10/1～11/29 読んでほしい…な (借りられる機会のなかった本の展示・貸出)</p> <p>【寄島】 10/1～11/29 「短編集」の展示・ 貸出</p>
	図書館巡回展示	年1回	すべて	3館巡回展示	<p>「いざ、防災！もしもに備える」</p> <p>【金光さつき】 9/1～9/30</p> <p>【鴨方】 令和4年度開催済</p> <p>【寄島】 7/19～8/30</p>
	出張読み聞かせ	随時	幼児・児童	幼稚園・小学校への 出張おはなし会	<p>【金光さつき】 要請に応じて実施</p> <p>【鴨方】 " (にじの会の協力)</p> <p>【寄島】 "</p>
	ぬいぐるみのお とまり会	年1回	幼児・児童	ぬいぐるみのおとまり 会	<p>【金光さつき】 11/18～11/19 子ども5人、大人6人</p> <p>【鴨方】 2/17～2/18 子ども5人、大人2人</p> <p>【寄島】 10/29 子ども5人、大人2人</p>
	夏休み企画	年1回	すべて	夏休み企画展示	<p>【金光さつき】 7/29～8/30 「新幹線」をテーマに展示 7/29 おはなし会 子ども9人、大人5人 親子工作 23組</p> <p>8/3 「図書館の仕事体験しよう！」 (市内小学4～6年生対象) 3人</p> <p>8/19 「新幹線博士になろう！」 JR職員によるクイズや工作など 子ども25人、大人14人</p> <p>【鴨方】 7/1～8/30 恐竜ってなに？ 恐竜テーマに展示 阿部山の化石等展示</p>

図書館	親子講座（鴨方・金光さつき）	年1回	幼児・小学生親子・一般	親子・ボランティア交流講座	<p>【金光さつき】</p> <p>2/18 「もっと南極を知ろう！」</p> <p>「南極地域観測隊・越冬隊」に参加した方を講師に、体験を聞き、実験を行う。</p> <p>子ども17人、大人15人</p> <p>【鴨方】 3/16 そらきた！ホイきた！楽しいおはなし会と読み聞かせのコツの講演</p> <p>子ども8人、大人39人</p>
	図書館講座（鴨方・金光さつき）	年1回	一般	郷土史等講演会	<p>【鴨方】 10/29 郷土史講演会（テーマ「山田方谷」） 42人</p> <p>10/13～11/10 関連本・資料コーナー</p>
	映画会（寄島）	年2回	一般	映面上映	<p>【寄島】 9/12 12人</p> <p>3/15 13人</p>

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容等
文化・芸術関係事業	文化財講座	年3回	一般	文化財を通じて地域の歴史や文化について学ぶ	9/9 「緑のアッケリヲを楽しむ会」 28人 11/4 身近な歴史遺産 火の見櫓 26人 3/10 和田谷遺跡の発掘調査成果 34人
	日本文化講座 お香に親しむ～香道入門	年2回	一般	芸術文化事業として、日本文化の一つである香道にふれる	1/27, 2/10 15人 香道の基本的な所作を学び、代表的な組香「源氏香」を体験
	総合文化祭	年1回	一般	市民による芸術文化の発表	10/21, 10/22 来場数：金光会場約700人、鴨方会場約800人、寄島会場約250人。
	金光遙照太鼓伝承教室	年間	小・中学生、高校生	郷土の文化伝承	5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。受講者数16人
	金光キッズフェスティバル	年1回	金光地区園児、小・中学生	学校・公民館・地域での学習成果の発表	12/17 展示の部 18団体延べ550人参加 舞台の部 15団体延べ274人参加
国際交流事業	海外青少年受入事業（オーストラリア）	年1回	青少年	姉妹都市の青少年の受入	10/6 モデブリー高校生16人 引率教諭2人を受入。寄島中学校、鴨方東小学校で学校体験
	オーストラリアへオンラインツアー	年1回	一般	姉妹都市・ティーツリーガリー市へのオンラインツアー	8/1 10人
	中学生英語スピーチコンテスト	年1回	市内在学中中学生	中学生の英語スピーチコンテスト	11/1 創作の部 5人、 暗唱の部 15人 計20人が出場
	初級英会話講座	年10回	小学5・6年生	ALTによる小学生向け英会話講座	6/14, 7/12, 8/30, 9/20, 10/11, 11/8, 12/13, 1/10, 2/14, 3/13 各回約15人、計約150人
	外国人のための日本語講座	年20回	市内在住在勤在学の外国人	在住外国人向けの日本語講座	(金光公民館) 6/3～第1土曜日 各回約5人、計約50人 (中央公民館) 6/18～第3日曜日 各回約2人、計約20人
	英会話動画の作成・公開	年間	一般	ALTによる英会話動画の作成とインターネットによる公開	第1話「自己紹介をしてみよう！」公開 第2話「浅口市を紹介しよう！」公開
岡山天文	こども天文クラブ	年7回	小学4～6年生	年間を通して天文・宇宙についての基礎知識の習得を目指すクラブ活	7/22, 8/19, 9/23, 10/15, 12/2, 1/20, 3/16 クラブ員10人

			動	
188cm反射望遠鏡市民向け観望会	年2回	一般	188cm反射望遠鏡を使った市民向け観望会	※ドーム故障によるメンテナンスのため、利用停止。
せいめい望遠鏡電視観望会	4回	一般	せいめい望遠鏡を使った電視観望会	5/27 31人, 8/27 29人 11/25 38人, 3/16 31人
ちびっこぶらねたりうむ	月2回	乳幼児と保護者	こども向けプラネタリウム投映とお話会。投映中も出入り自由	毎月土曜日を中心に月2回 計24回開催 のべ270人見込み
かがく広場	年3回	小学生	身近なものを使った実験や工作を通して科学の不思議を学ぶ。	7/2 「うくかな？しずむかな？」 11/11 「牛乳パックを使ったカメラづくり」 1/28 「音で遊ぼう 手作り楽器でハッピーバースデー」 のべ28人参加
望遠鏡を作ろう！	年1回	一般	望遠鏡キットを使って望遠鏡作り	7/29 24人
七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」	年1回	一般	メッセージを預かって星のパワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。	ホームページでのコンテンツ配信で継続
君も望遠鏡博士になろう！～188cm&せいめい望遠鏡見学ツアー～	月2回	一般	天文台ドーム内でのガイド付き見学ツアー	計22回開催予定 参加者 のべ120人参加見込み ※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cmツアーは中止。
シン・ナナヨン探検隊	3回	一般	188cm望遠鏡の主鏡見学などを含む、ガイド付き見学ツアー	※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、利用停止。
天文台のまちあさくちPR事業	開館時	一般	スマホやタブレットを使って楽しむ展示	バーチャルで3.8m新望遠鏡と天文台の操作を楽しめる展示。 既存展示の説明をWebコンテンツで見られる展示。
	開館時	一般	タッチパネル式で天文クイズや宇宙旅行を体験	初級から上級までコースを選んでクイズに挑戦。 惑星めぐりや宇宙の果てまで、好きな宇宙旅行が楽しめる。
	開館時	一般	定点カメラを通して3.8m新望遠鏡を観察。	ツアーに参加できない来館者がモニターを通じてドーム内の様子を見ることが出来る

博物館事業

	開館時	一般	大型モニターによる展示	液晶パネル4枚を組み合わせたマルチスクリーンシステムにタッチパネルを搭載し、触って遊べるコンテンツ。
	年2回	一般	望遠鏡の使い方の説明、季節の星座の観望	8/12 「夏の観望会」34人 12/9 「冬の観望会」31人
	1回	一般	ライトダウンキャンペーン	光害を周知するため、旧暦七夕にあわせてライトダウンキャンペーンを実施
	月1回程度	一般	天文台PR動画「天文王国おかやま あさくちチャンネル」の配信	せいめい望遠鏡で撮影した天体画像など、スタッフの解説付きでYoutubeで配信
学校連携事業	年2回	中学生	中学校と連携し、国立天文台188cm望遠鏡での観測実習および博物館で体験実習を実施	※188cmドーム故障によるメンテナンスのため、188cmでの観測実習は中止。
		大学生	岡山理科大学博物館実習	10/28, 11/4, 11/5, 11/11, 11/12 3人
冬のこどもまつり	年1回	一般	家族やこども向けの工作やイベントを実施	1/8 287人
プラネタリウムコンサート	年1回	一般	星空解説と生演奏	7/15 七夕・星空コンサート 36人 12/23 クリスマスコンサート 30人 ※産業振興課との連携事業
星空ヨガ	年2回	一般	プラネタリウムの星空の下でヨガを開催	6/17 10人, 11/3 13人 ※産業振興課との連携事業
キャンプ体験講座	年2回	一般	プラネタリウムの星空下でのキャンプ体験	9/10 15人 3/20 9人
講演会等	年2回	一般	岡山天文台講座	2/17 「星(キミ)がいたから私がいる 星の一生について」31人
		一般	宇宙☆自然講座	9/16 「出張 カプトガニ講座」9人
岡山天文博物館 開館記念事業 「あさくち天文台 フェスタ」	1回	一般	京都大学、国立天文台と共催で、講演会や工作、クイズラリーなど、大人からこどもまで楽しめるイベントを開催	10/28 261人

かもがた町家公園事業	町家塾	年間	小学 1～6年生	郷土の文化伝承	6/24 真田組み体験・昔話 26人 7/15 昔話と七夕かざり作り 31人 8/5 お茶の点て方 23人 10/7 投扇興体験 18人 11/11 古代体験(火起こし体験・勾玉作り) 23人 12/2 神楽にふれよう 50人 1/20 春の七草粥とカルタ 26人 2/17 ひな人形作り 20人 ※参加人数は保護者等を含む
	まちや茶会	年3回	一般	かもがた町家管理組合文化部による茶会	7/2 152人 9/29 観月茶会 160人 2/18 184人
	昔の道具展	年1回	一般	昔の道具を展示	4/29、5/3～5/4
	昔体験	年1回	一般	子どもたちを対象とした昔体験	4/29、5/3～5/4
	まちや映画会	年8回	幼児、小学生とその保護者	幼児、小学生とその保護者を対象とした昔話の映画会	7/23 4人、7/30 7人、8/6 10人 8/13 6人、8/20 8人、8/27 10人
	まちや寄席	年1回	児童、一般	岡山大学落語研究会等による寄席	2/4 83人
	町家☆Stories	年1回	一般	星にまつわる話の朗読会	9/24 38人
	おせらの折紙とむかしばなし	年4回	一般	大人向けの折紙教室と昔話を語る会	6/7 9人、9/13 10人 12/6 10人、3/6 10人
	町家で投扇興体験	年1回	一般	江戸時代の庶民の遊び投扇興の体験	11/5 32人
	町家で琴はじめ	年1回	一般	初心者でも楽しめる琴の演奏体験	11/12 3人
	お茶の点て方体験	年1回	一般	かもがた町家管理組合文化部による気軽に参加できるお茶の点て方体験	11/23 15人
	鴨方まち歩き	年1回	一般	当時の面影をしのばせる鴨方往来を巡る	11/21 11人
	季節の行事企画展	年間	一般	節句等の伝統的年中行事の企画展示	4～5月 五月人形展示 年末年始 門松・正月飾り 2～3月 雛人形展示
とんど焼き体験	年1回	一般	伝統行事であるとんど焼き体験	1/13 90人	

	町家でむかしむかし	年1回	一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する	3/24 10人
	町家スプリングコンサート	年1回	一般	町家で聴くジャズのコンサート	3/17 109人
阿藤伯海公園事業	所蔵作品展	年間	一般	阿藤伯海先生等の資料展示	阿藤伯海先生や画家阿藤秀一郎氏の郷土先人に関する資料の常設展示
資料館事業	鴨方郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示
	金光歴史民俗資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人等に係る歴史民俗資料展示
	寄島郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の考古資料等の民俗資料展示

【公民館講座】

事業名		期間・回数	対象	開催日・実績・内容等
浅口市中央公民館	ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字	第2・4土曜日	市内在勤学	受講生18人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ
	楽しい中国語	毎週日曜日		受講生4人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ
	楽しい陶芸	第4火曜日		受講生12人 土の手触りを楽しみながら器などを作る
	基礎から学べる詩吟	第1・3火曜日		受講生12人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する
	やさしい水墨画	第1・3金曜日		受講生7人 構図の基本や墨の濃淡など基本技術から作品製作までを学ぶ
	やさしい実用書道	第2・4日曜日		受講生4人 かい書、行書の基本を学習し、書に親しむ心を大切に、書く喜びを楽しむ
	楽しい韓国語	毎週水曜日		受講生7人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ
	手打ちそば入門	第2・4日曜日		受講生13人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ
浅口市中央公民短期講座	シニア向けスマートフォン教室（スマホ入門・基礎）	2回	スマホの使い方には自信のない、概ね60歳以上の市内在住・在勤の方	12/6 受講者11人 ※2回連続講座
	シニア向けスマートフォン教室（スマホ応用）	2回	スマホをより使いこなしたい、概ね60歳以上の市	12/8 受講者10人 ※2回連続講座

	シニア向けスマートフォン教室（Googleのアシスタント・レンズ機能を使ってみよう）	2回	内 在 住・在勤 の方	12/19 受講者7人 ※2回連続講座
	可愛い帯結びと浴衣の着付け	4回	市 内 在 住 在 勤 在 学	6/10, 6/17, 7/1, 7/15 受講生7人 可愛い帯結びと浴衣の着付けを学ぶ
	お正月は着物でたのしみませんか？ふだん着物の着付けと名古屋帯	6回		11/4, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9, 12/16 受講生6人 長襦袢と着物の着付け、名古屋帯お太鼓結びを学ぶ
	ハワイの風を感じて Let's フラダンス！！	5回		11/10, 11/25, 12/1, 12/15, 12/22 受講生16人 フラダンスの歴史、文化を学びながら1つのダンスを修得する
金光公民館	庭木の手入れ入門	第4土曜日		市 内 在 住 在 勤 在 学
	絵手紙入門	第4木曜日	受講生16人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり	
	英会話入門	第2・4火曜日	受講生17人 初歩からの英会話を学ぶ	
	男の料理入門	第2日曜日	受講生7人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物の料理までを学ぶ	
	木工入門	第2・4金曜日 第2・4土曜日	受講生6人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ	
	ランチタイムで世界旅行	第4土曜日	受講生14人 身近な材料で世界各国の料理を学び旅行気分を味わってみませんか。	
	簡単ランチとスイーツ入門	第4日曜日	受講生10人 季節のスイーツを2品と簡単なランチの作り方を学ぶ。	
	アロマのある暮らし	第2土曜日	受講生13人 アロマを生活の中に取り入れて活用する方法を楽しみながら学ぶ。	
	バランスボールエクササイズ	第3木曜日	受講生13人 バランスボールを使って楽しくエクササイズをして、健康増進に努める	

金光公民館短期講座	シニア向けスマートフォン教室	1回	市内 在住 在勤 在学	9/27 受講生 8人
	年末恒例！年越しそば打ち	1回		12/27 受講生 18人
	金光おこわを作ろう	1回		3/6 受講生 15人 金光特産の青大豆を使った金光おこわをつくる
	春をさきどり アロマサシュを作ろう	1回		3/9 受講生 11人 天然の香りを使った芳香剤をつくる
寄島公民館	シニア向けスマートフォン教室	2回	市内 在住 在勤 在学	8/30 午前の部 受講生 1人 8/30 午後の部 受講生 2人
	ガーデニング	第3金曜日		受講生 15人
	ヨガ	第2水曜日		受講生 23人
	手話	第2・4木曜日		受講生 6人
	和太鼓	第2・4水曜日		受講生 5人
	SNS講座	3回×2回		10/22, 29, 11/5 受講生 4人 1/21, 28, 2/4 受講生 3人
	ズンバ	6回		受講生 20人
	こども茶道教室	1回		受講生 4人